

このテクニカルマニュアルは、Ki Mobility製車椅子を取り扱う
ディーラーに向けて作成されています。

Little Wave "Clik"

TECHNICAL MANUAL



WARNING

警告:車椅子販売店の技術者が行わない修理や調整は、デバイスの性能低下や故障の原因となり、重大な怪我や死亡に繋がる人身事故を引き起こす可能性があります。

このテクニカルマニュアルは、Clikに必要なさまざまな設定を補助するために作成されています。取扱説明書、調整ガイド、および使用説明書に代わるものではありません。このテクニカルマニュアルに記載されている手順は、車椅子の修理、調整、および改造を行うために訓練を受けた車椅子販売店または臨床専門家のみが実施してください。

詳細については、Clikの取扱説明書を参照してください。取扱説明書はKi Mobilityのウェブサイトにあります。

Clik、このマニュアル、当社が提供するサービスについてご質問やご不明な点がある場合は、お気軽にお問い合わせください。

株式会社ユーキ・トレーディング

〒110-0008

東京都台東区池之端2-5-46

TEL : 03-3821-7331

FAX : 03-3821-7552

MAIL : info@yukitrading.com

HP: www.yukitrading.com



目次

使用工具	3
フレームチューブサイズガイド	3
各部計測参照データ	4
キャスターマウント	5
キャスターフォーク・システム	6
キャンパーマウントアセンブリ	9
キャンパーチューブ・アダプター	11
バックサポートアセンブリ	12
リラックスバック	13
高さ調整式バックサポート	15
高さ固定式バックサポート	16
リジッドストローラーハンドル	17
エルゴストローラーハンドル	17
ボルト固定式プッシュハンドル	18
高さ調整式T型アームサポート	19
角度・長さ段階調整式フリップアップアームサポート	20
スイングアウト式アームサポート	21
チューブラーフリップアップアームサポート	22
キャノピー	23
杖ホルダー	25
バッグキャリア	26
ハンドリム構成	27
ハンドリム組立	28
調整式シートパン	29
調整式スリングシート	30
サイドガード	31
車載用金具	33
角度調整式アルミフットプレート	36
角度調整式アルミフットプレート後方フリップアップ	37
角度調整式アルミフットプレートハイマウント	38
角度調整式アルミフットプレートハイマウント後方フリップアップ	39
クロスブレース	40
転倒防止装置	41
5ホイール	42
ブレーキ	47
片手駆動 (OAD)	49
重心位置(車軸位置)の調整 (COG)	54
ホイールスペースの調整	56
キャスターの垂直	57
ト一角の調整	58
ドラムブレーキ	59

使用工具

以下のリストを参照し、このマニュアルで必要な工具を用意してください。使用前に工具を必ず点検し、先端に剥がれや破損のないこと、車椅子の部品やハードウェアを損傷することなく正しく機能する状態であることを確認してください。

使用工具一覧	
・ 2.5mm六角レンチ	・ 8mmレンチ 2本
・ 3mm六角レンチ	・ 10mmレンチ 2本
・ 4mm六角レンチ	・ 13mmレンチ
・ 5mm六角レンチ	・ 17mmレンチ
・ 5.5mm六角レンチ	・ 19mmレンチ
・ 6mm六角レンチ	・ 24mmレンチ
・ カッターナイフ	・ プラスドライバー
・ トルクレンチ	

フレームチューブサイズガイド

※チューブサイズは予告なく変更される場合があります

この情報は、特定のアタッチメントの使用にチューブサイズが必要な場合のための参照用データです。

フレームチューブ

フレームチューブ: 1 1/8"

キャンバーチューブ: 1 1/8"

バックサポートパイプ

高さ固定式バックサポート: 1"

下側パイプ: 1"

上側パイプ: 3/4"

調整式リジッドバー: 7/8"

アームサポート

スイングアウト式: 1"

T型アームサポート上部: 7/8"

T型アームサポートサイドガード部: 3/4"

チューブラーフリップアップ: 7/8"

角度調整式フリップアップ: 1"

フットサポート

フットサポートチューブ: 3/4"

各部計測参照データ

Clikは、ユーザーの成長に合わせて調整できるよう設計されています。各所の用語や意味については下の図を参照してください。

- A. 座幅 (図2参照)
シートフレームチューブ外外の数値。
- B. 座奥行 (図1参照)
バックパイプ前端から座シート前端までの数値。スリングシートはフ
- ロントフレームの曲がり初めの箇所からスタートします。
- C. フロントフレーム角度 (図1参照)
床面に対するフロントフレームの角度
- D. スリングポジション (図3参照)
スリングポジションが「0」の場合、スリングはフロントチューブから約4インチの位置にあります。1インチと2インチのスリングポジションは、スリングの前にあるフレームをその分伸ばします。-1は座シートを1インチ前方に押し出します。詳しくは、図1と図2を参照してください。

- 前座高 (図2参照)
スリングシート前端のシートチューブ上部から床までの数値。
- E. フットサポート幅 (図2参照)
フロントフレームチューブ内内の数値。フットサポートの幅は、座幅ごとに以下の図1の通りリストされています。
- F. 座面からフットプレートの距離 (図1参照)
スリングシート前端からフットサポート後部の上部までを測定。フットサポートの長さは、前座高より少なくとも2.5インチ短くすることをお勧めします。
- G. 後座高 (図1参照)
バックサポートパイプ前部のシートチューブ上部から床までの数値。後座高はニーズに合わせて調整されています。
- H. 車軸ポジション設定 (図1参照)
バックサポートパイプ前端からリアアックスルの中心までの数値。0”は、車軸がバックサポートパイプの真下にあることを示します。
- I. リアホイールスペース (図2参照)
シートフレーム外側からリアタイヤ内側までの数値。外側に最大0.5インチ調整可能です。

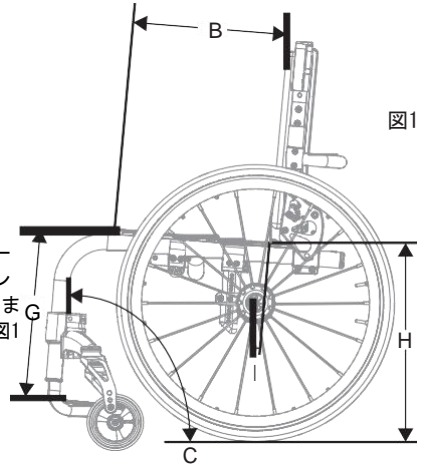


図1

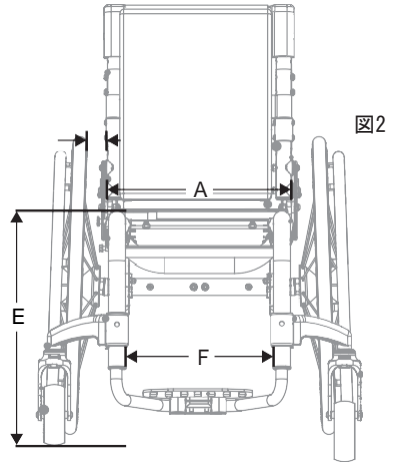


図2

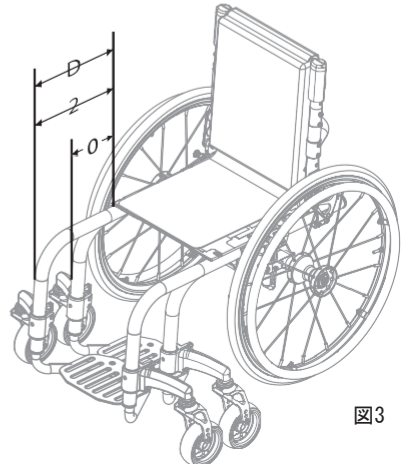


図3

表1

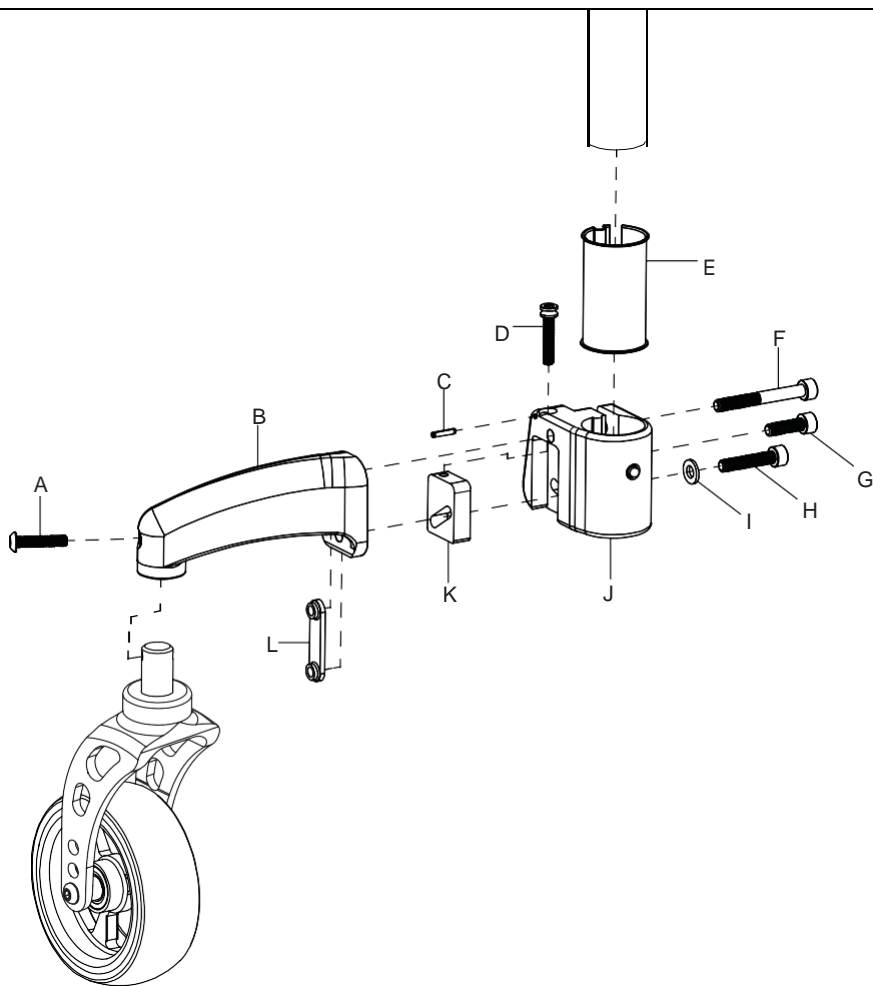
F. フットサポート幅		
座幅	ストレートフレーム (図1)	オフセットフレーム
20cm	14.6cm	22.8cm
23cm	17.1cm	25.4cm
25cm	19.7cm	27.9cm
28cm	22.2cm	30.4cm
30cm	24.7cm	33.0cm
33cm	27.3cm	35.5cm
35cm	29.8cm	38.1cm
38cm	32.3cm	40.6cm
40cm	34.9cm	43.1cm

スリングポジション / 座奥行調整 / 座奥行の互換性									
スリングポジション	-1", 0"			1"			2"		
座奥行調整	1"	2"	3"	1"	2"	3"	1"	2"	3"
座奥行	35cm								X
	38cm					X		X	X
	40cm			X	X	X	X	X	X

表2

キャスターマウント

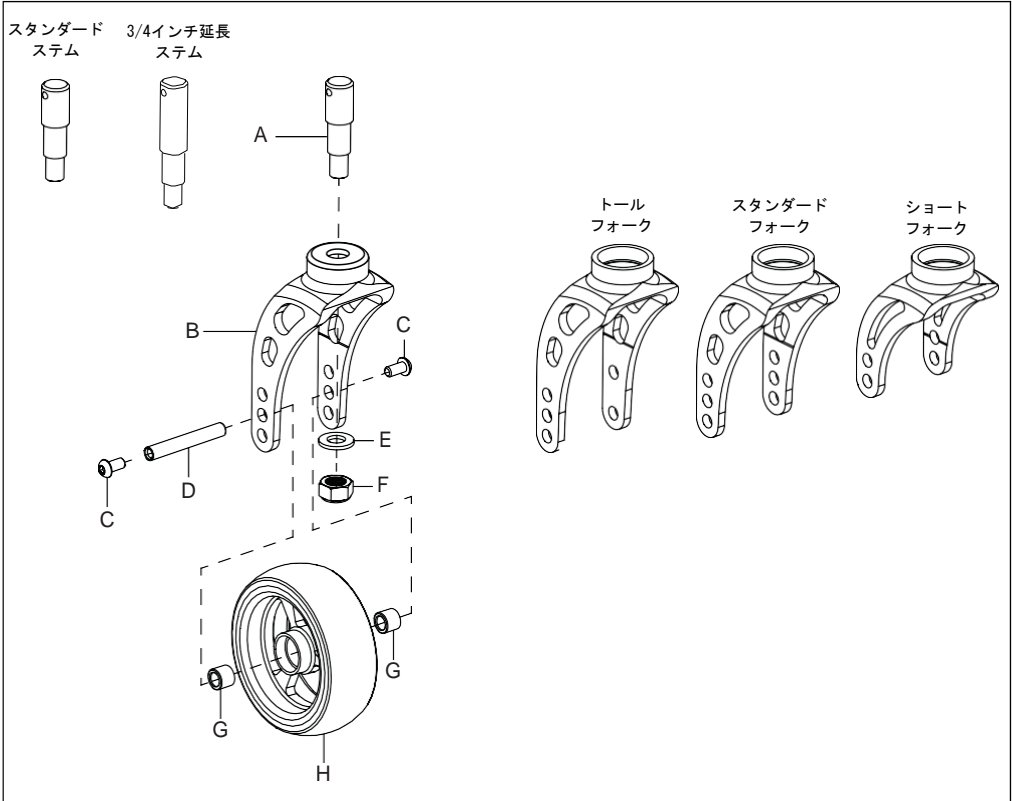
1. キャスターホイールアセンブリをキャスターアーム (B) に取り付け、3mm六角レンチを使用してネジ (A) で固定します。
2. キャスターアームアセンブリを調整プレート (K) とピン (C) を使用してキャスターアームマウント (J) に取り付け、フレームに差し込みます。5mm六角レンチを使用して、4本のボルト (D、F、G、H) とワッシャー (I) ですべてを固定します。



キャストフォーク・ステム

1. 17mmレンチを使用し、ワッシャー (E) とナット (F) でステム (A) をフォーク (B) に取り付けます。
2. 2本の4mm六角レンチを使用し、2本のネジ (C)、ネジ付きバレル (D)、および2本のスペーサー (G) で、キャストホイール (H) をフォーク (B) に取り付けます。

注： 使用できるキャストステムには2つのサイズ (スタンダード・3/4インチ延長) と3つのサイズのフォーク (トール・スタンダード・ショート) があります。下の画像はステムとフォークを示しています。取り付け方はどの組み合わせでも同じです。

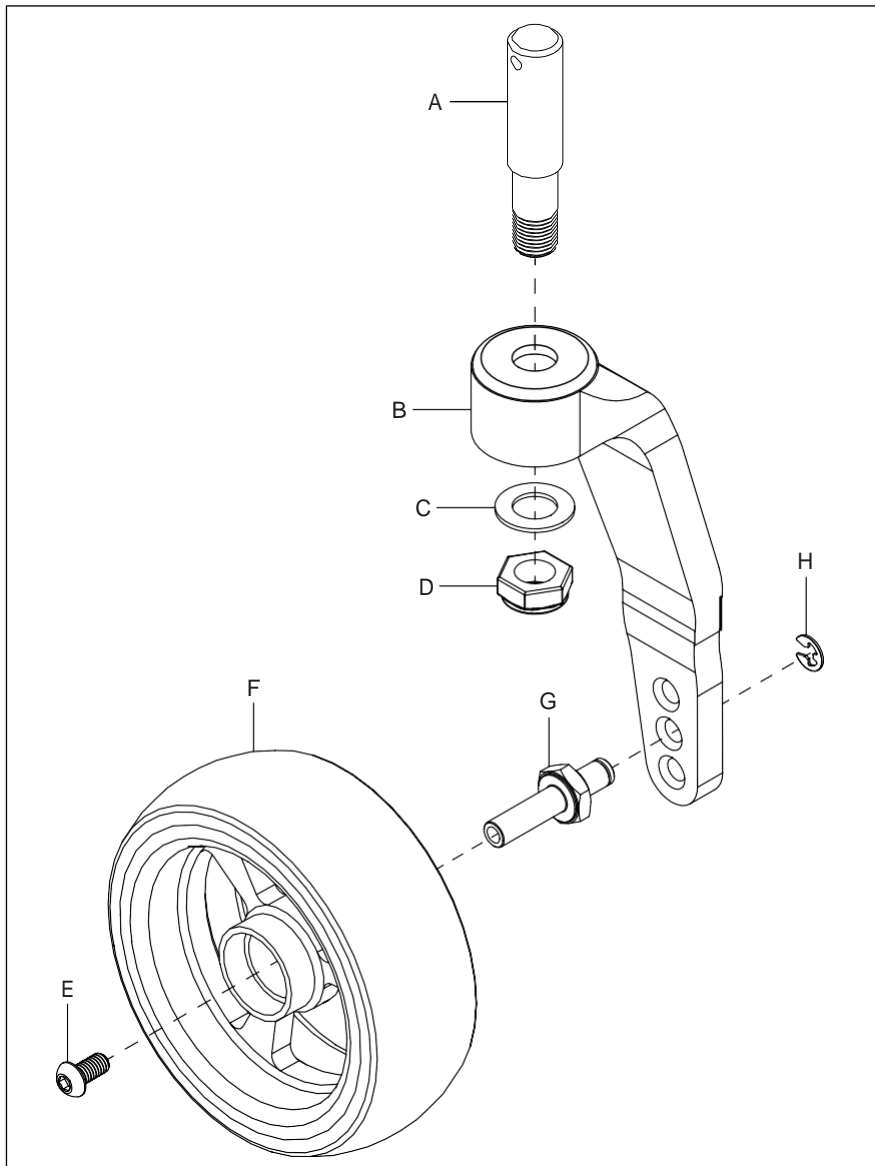


キャスターフォーク・ステム

シングルサイドフォーク

1. 17mmレンチを使用し、ワッシャー (C) とナット (D) でステム (A) をシングルサイドフォーク (B) に取り付けます。
2. キャスターホイール (F) をネジ (E) 、アクスル (G) でフォーク (B) に取り付け、Eリング (H) で固定します。

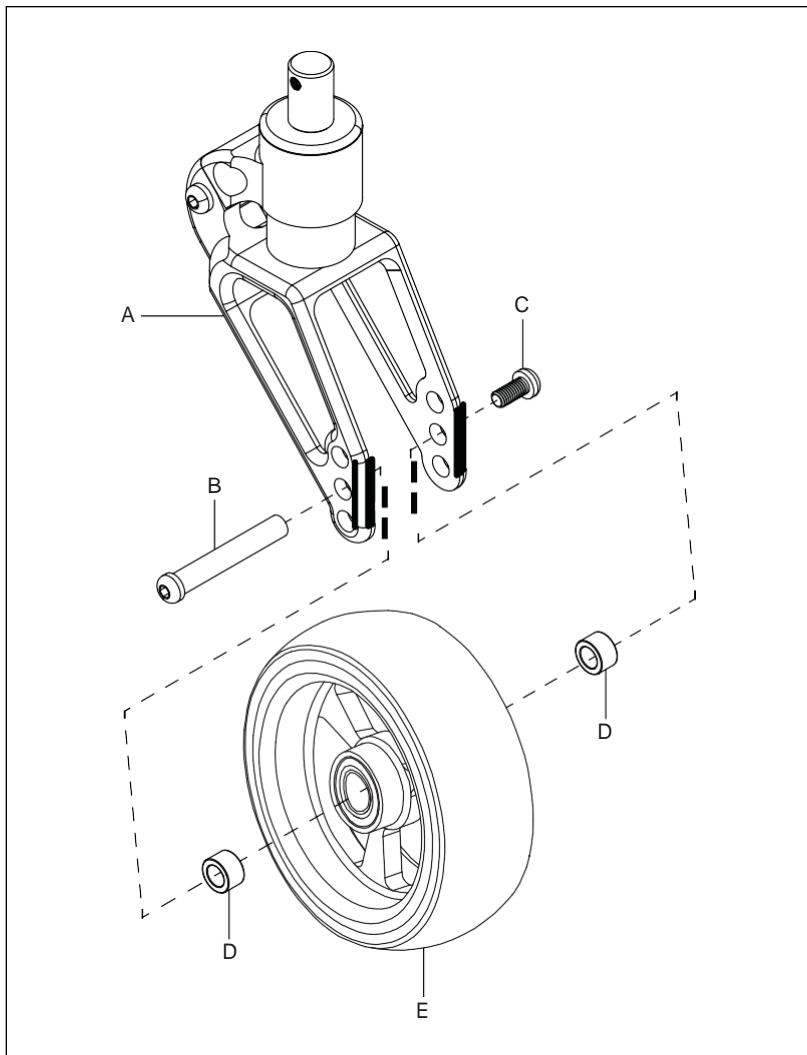
使用できるキャスターシステムには2つのサイズ (スタンダード・3/4インチ延長) と2つのサイズのフォーク (ショート・ツール) があります。取り付け方はどの組み合わせでも同じです。



キャスターフォーク・ステム

フロッグレッグスウルトラスポーツフォーク

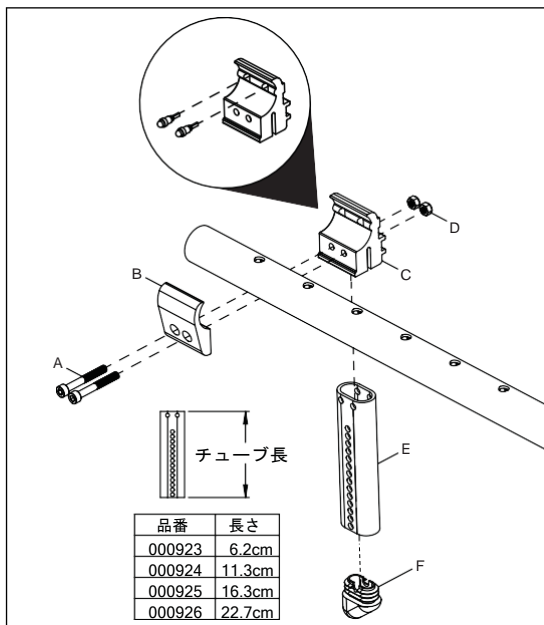
1. 2本の4mm六角レンチを使用し、フロッグレッグスウルトラスポーツフォーク (A) に車軸 (B)、ネジ (C)、および2つのスペーサー (D) でキャスターホイール (E) を取り付けます。



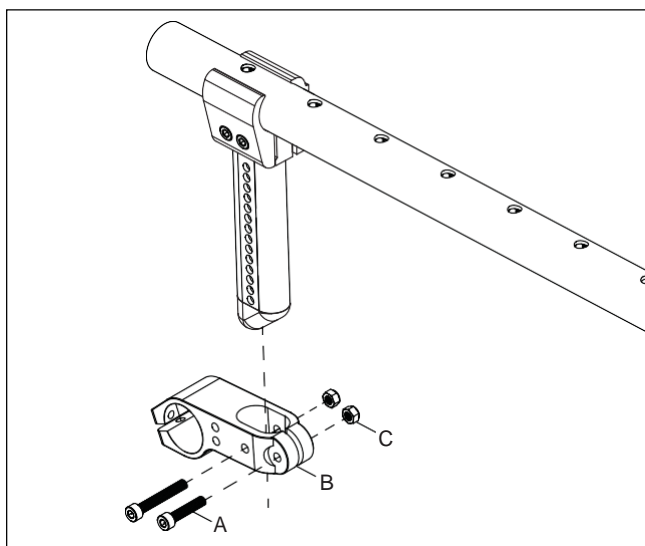
キャンバマウントアセンブリ

注：後のステップでキャンバチューブを正しく取り付けることができるように、片側を一度に取り付けます。

1. タワークランプ (B&C) を、5mm六角レンチで2本のネジ (A) と2本のナット (D) を使用して、キャンバマウントチューブ (E) とキャンバチューブキャップ (F) とともにフレームに取り付けます。

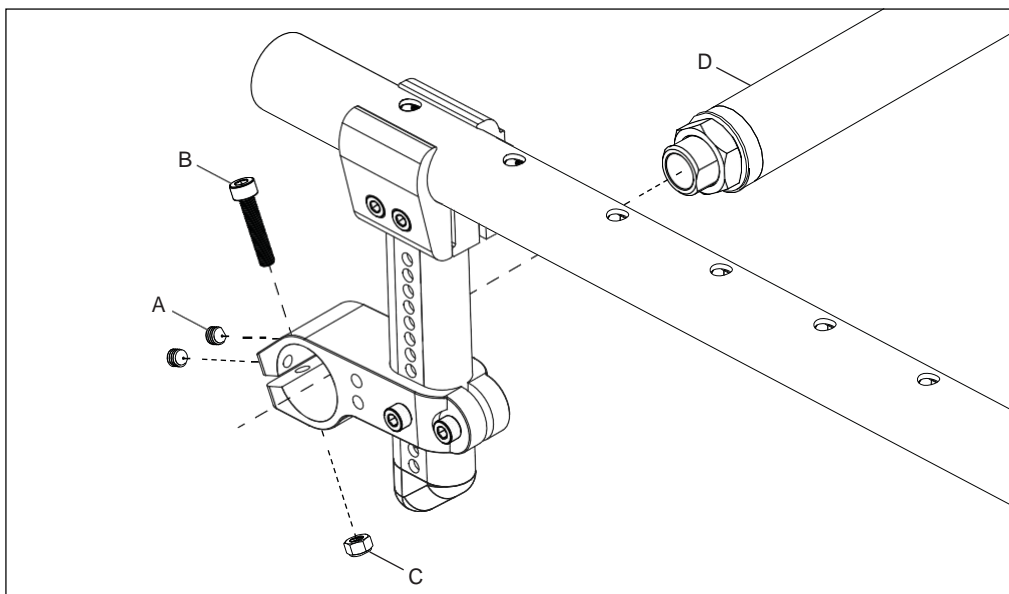


2. キャンバチューブ取り付けクランプ (B) をキャンバマウントチューブに差し込み、4mm六角レンチと8mmレンチを使用して2本のネジ (A) と2本のナット (C) で固定します。



キャンバマウントアセンブリ

3. キャンバチューブ (D) をキャンバチューブ取り付けクランプに取り付け、4mm六角レンチと8mmレンチを使用してネジ (B) とナット (C) で固定します。2.5mm六角レンチで2本のイモネジ (A) を取り付け締めます。



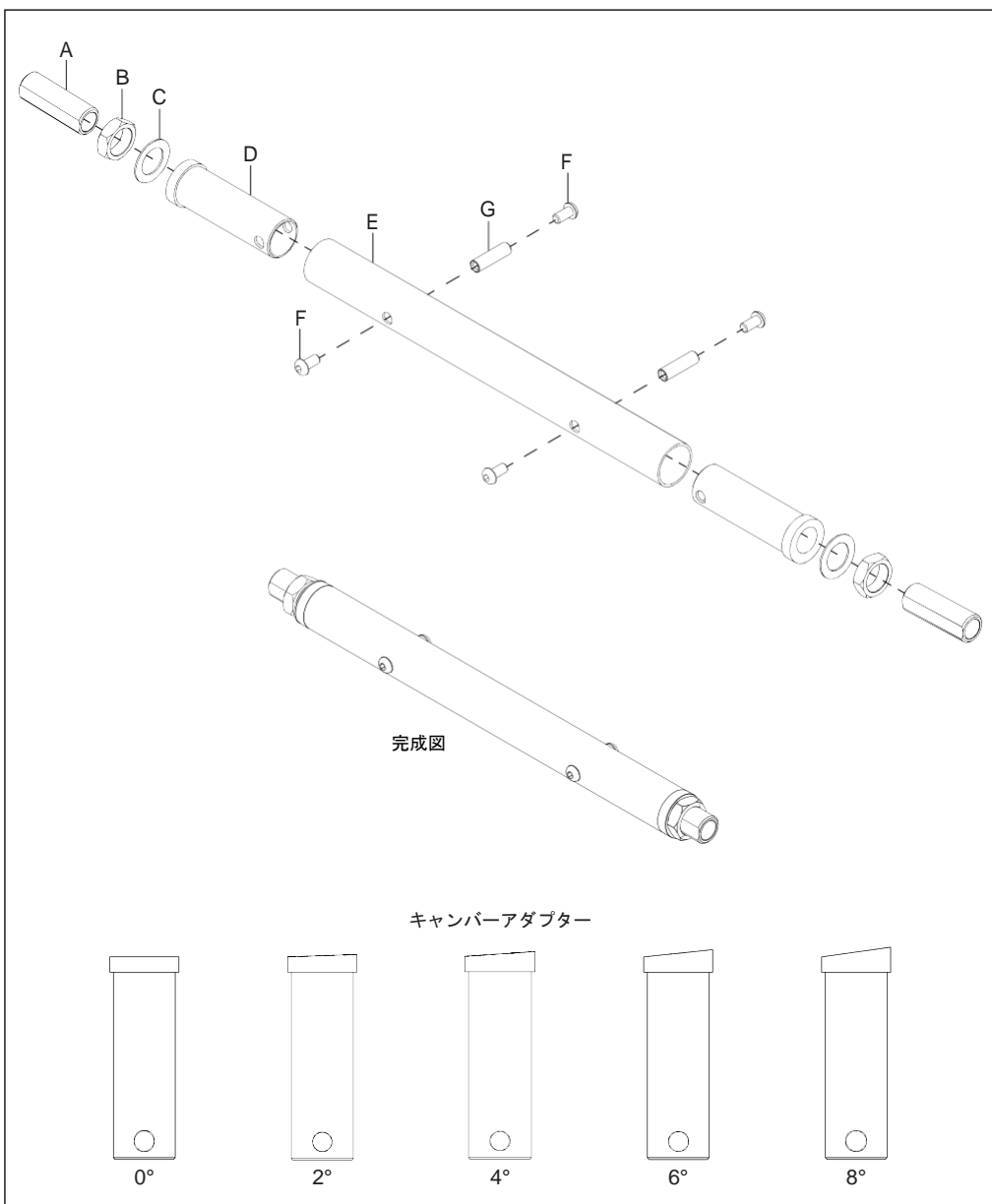
4. 反対側も同様に実施します。

キャンバーチューブ・アダプター

1. アクスルレシーバー、アクスルレシーバーナット、アクスルプレートワッシャー、キャンバーアダプターをキャンバーチューブに取り付けます。

注：キャンバーアダプターを使用し、 0° ・ 2° ・ 4° ・ 6° ・ 8° のキャンバー角に設定できます。

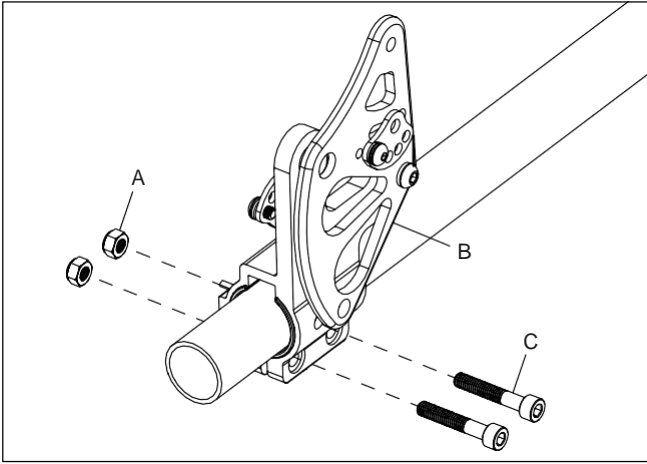
2. 2本の4mm六角レンチを使用して、2本のネジとネジ付きバレルでキャンバーアダプターをキャンバーチューブに固定します。
3. キャンバーチューブの反対側の端で手順1と2を繰り返します。



バックサポートアセンブリ

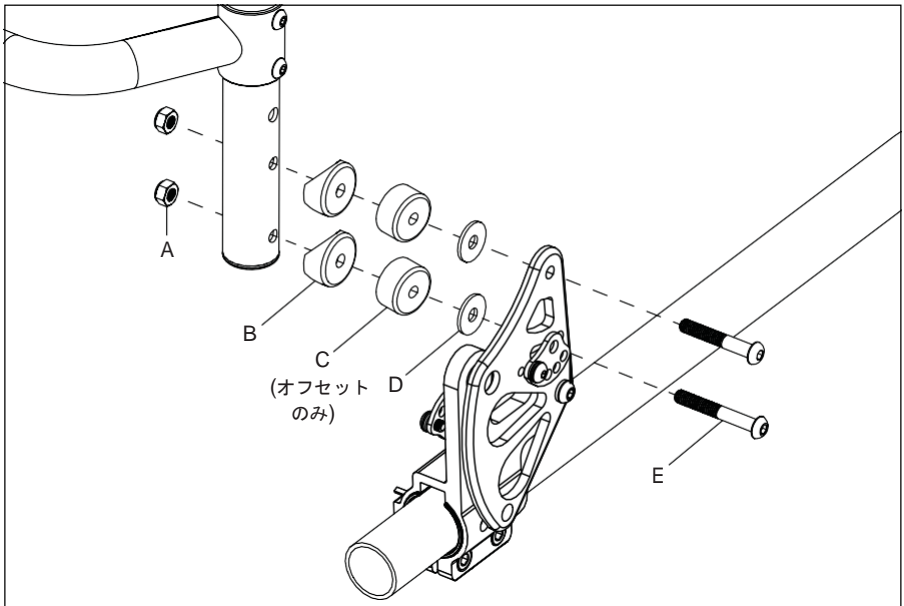
注：バックサポートマウントの取り付け手順では、車椅子の両側が同じように設定されていることが重要です。アセンブリを両側で同じ距離を移動させるようにしてください。1回のクリックは $\frac{1}{2}$ "に相当します。アセンブリが目的の位置に配置されたら、ネジ類を締めて位置を固定します。

1. 車椅子に取り付けられているバックサポートマウントを取り外します。
2. 5mm六角レンチと10mmレンチを使用し、2本のボルト（C）と2個のナット（A）でバックサポートマウントアセンブリ（B）をフレームチューブに取り付けます。取り付け位置は、希望する座奥行に基づきます。反対側も同様に実施します。



3. バックサポートパイプをバックサポートマウントに取り付け、4mm六角レンチと10mmレンチを使用して、2本のボルト（E）、2枚のワッシャー（D）、2個のサドル（B）、および2個のナット（A）で固定します。バックサポートの角度の変更については、取扱説明書の「バックサポートの角度調整」セクションを参照してください。反対側も同様に実施します。

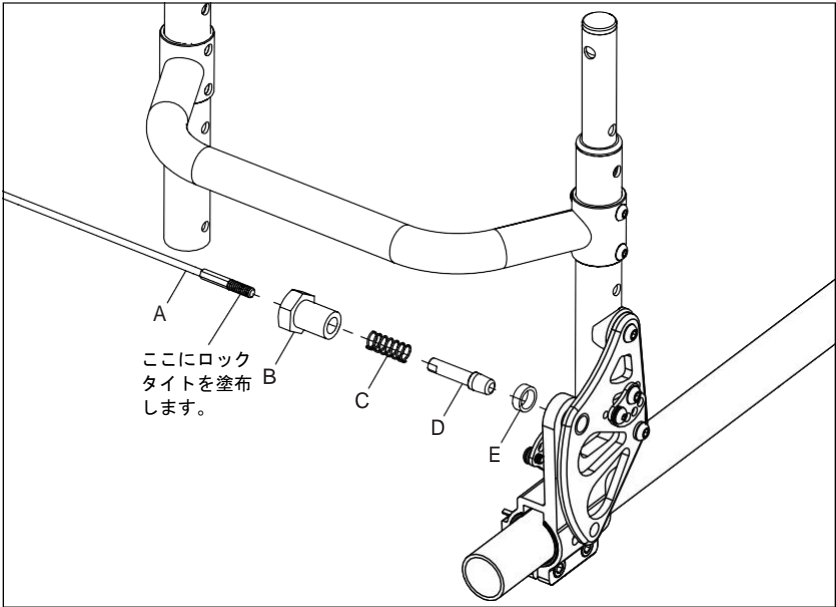
注：オフセットバックサポートの場合、2つのスペーサー（C）が追加されます。



バックサポートアセンブリ

4. ピンレシーバー (B)、リリーススプリング (C)、ロックアウトピン (D)、およびスペーサー (E) を備えたリリースケーブル (A) を取り付けます。組み立てる前に、リリースケーブルのネジ端に青色ロックタイトを使用してください。反対側も同様に実施します。

注：スイングアウト式アームサポートの場合、スペーサー (E) は使用しません。

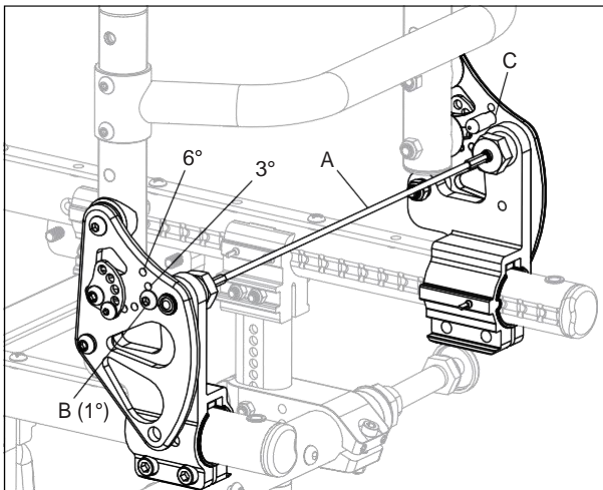


リラックスバック

この車椅子は、バックリリースケーブル (A) を解放すると、わずかにリクライニングするように調整できます。これが「リラックスバック」機能です。1°、3°、6° が可能です。

調整するには、3mm六角レンチを使用してバックサポートストップ (AおよびC) を分解し、両側の目的の位置に再組み立てします。

調整するには、3mm六角レンチを使用してバックサポートストップ (AおよびC) を分解し、両側の目的の位置に再組み立てします。

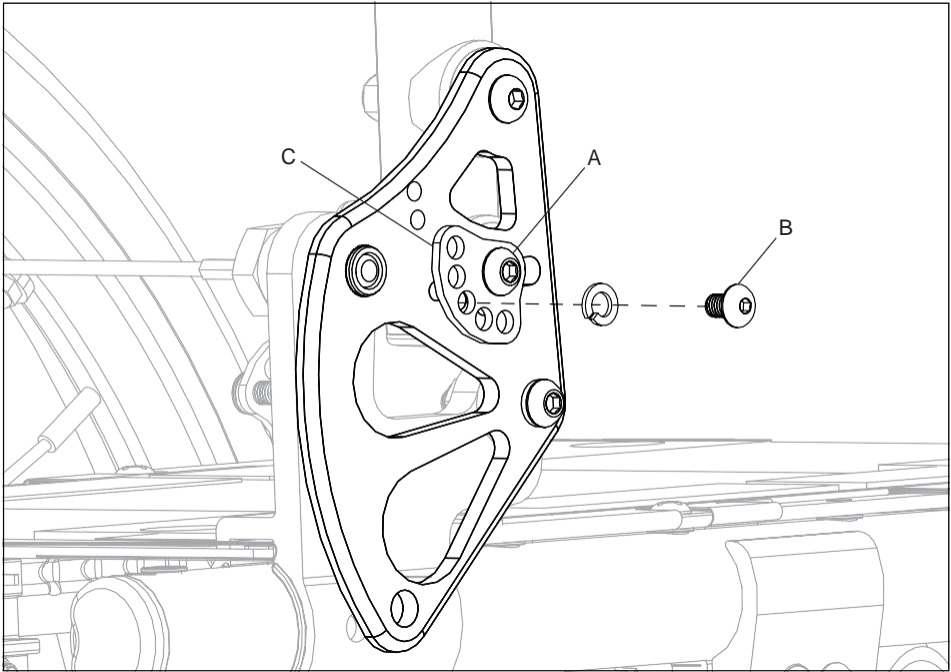


リラックスバック

バックサポートの角度調整

1. バックサポートの両側で、バックサポートプレート（A）の外側にある6mmネジ（A）を緩めます。
2. バックサポートの両側で、バックサポートプレート（A）の外側にある5mmネジ（B）を取り外します。
3. 希望するバックサポートの角度になるよう、ピボットブラケット（C）の穴の位置を合わせます。
4. バックサポートの両側で、2で取り外した5mmネジを再度ピボットブラケットの穴に挿入し、締めます。
5. バックサポートの両側で、6mmネジ（A）を締め直します。

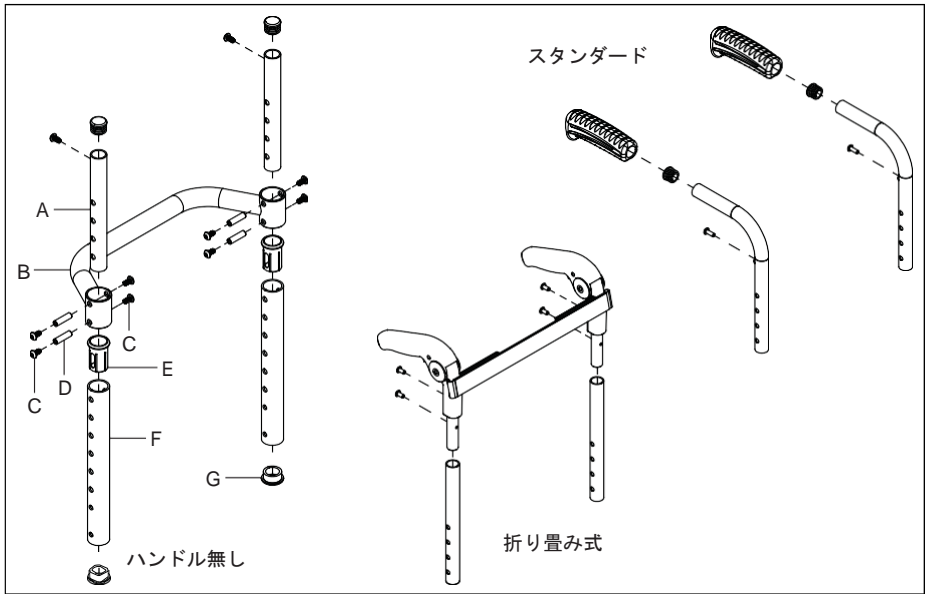
注：バックサポートの高さを低くしたり、角度を変更したりすると、後方への安定性が低下する場合があります。転倒を防ぐために第三者と安全性を確認しながら少しずつ調整をおこなってください。



高さ調整式バックサポート

1. バックパイプ (F)、プラグ (G)、スリーブ (E)、ネジ (C)、ネジ付きバレル (D)、および上部バックパイプアセンブリ (A) を2本の3mm六角レンチを使用して取り付けます。

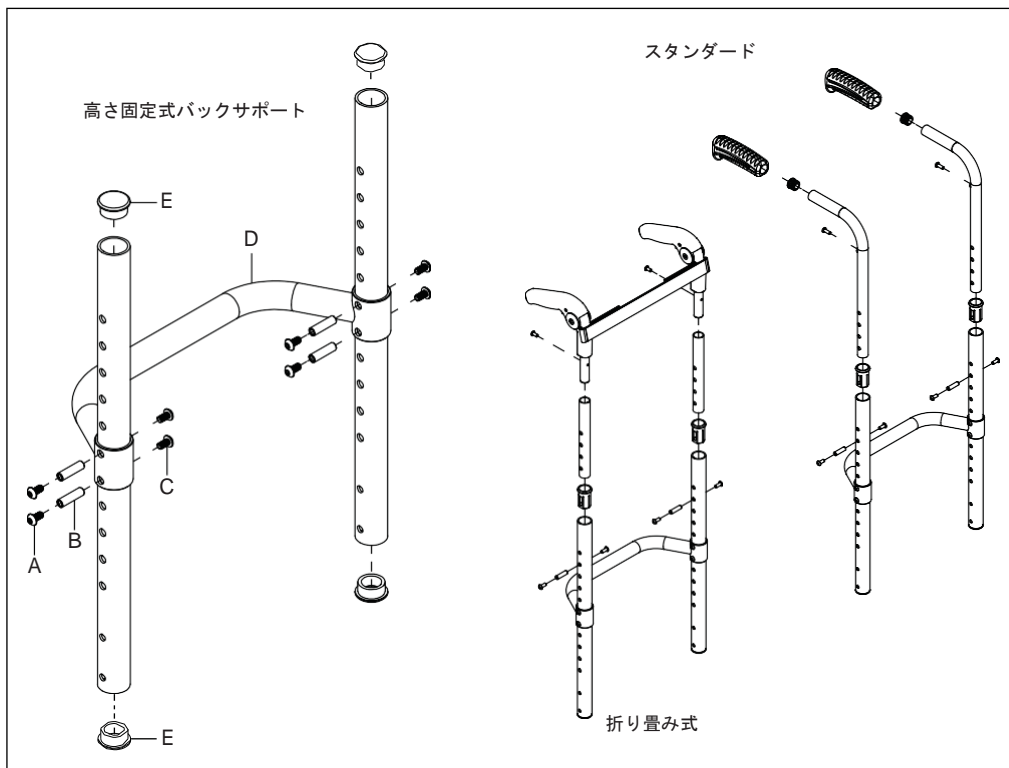
注：プッシュハンドル無し、スタンダードプッシュハンドル、折り畳み式プッシュハンドルを下に画像に示します。



高さ固定式バックサポート

1. 高さ固定式バックサポートの場合、2本の3mm六角レンチを使用して、リジッドバー (D)、ネジ (A& C)、ネジ付きバレル (B)、およびプラグ (E) を取り付けます。

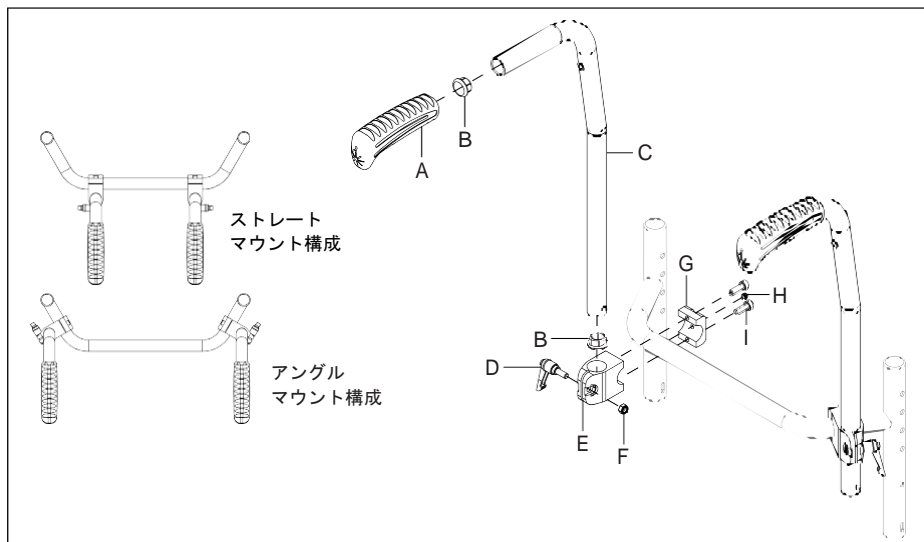
注：高さ固定式バックサポート、スタンダードプッシュハンドル、折り畳み式プッシュハンドルを下の画像に示します。スタンダードプッシュハンドルと折り畳み式プッシュハンドルには、スリーブ、上部ポストアセンブリ、およびハンドルハードウェアが必要です。詳細については、下の画像を参照してください。



リジッドストローラーハンドル

1. ストローラーハンドルクランプ (E&G) をリジッドバーに取り付け、5mm六角レンチと2.5mm六角レンチを使用して2本のネジ (I) とセットネジ (H) で固定します。クランプは、ストレートマウント構成またはアングルマウント構成で取り付けることができます。下の画像を参照してください。
2. ハンドル (A) とプラグ (B) を取り付けた状態でバックパイプ (C) をクランプに取り付け、10mmレンチを使用してクランプハンドル (D) とナット (F) を取り付けて固定します。

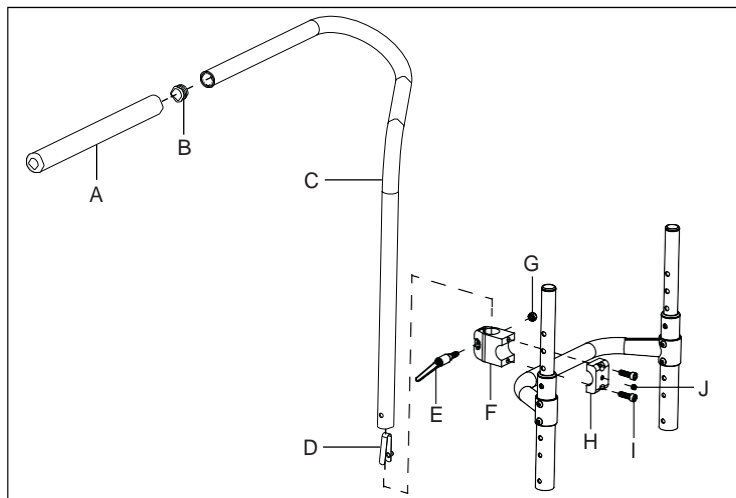
注：正しく取り付けられれば、バックパイプの下部の戻り止めボタンが所定の位置にカチッと合致します。



エルゴストローラーハンドル

1. エルゴストローラーハンドルクランプ (F&H) をリジッドバーの中央に取り付け、5mm六角レンチを使用して2本のネジ (I) とセットネジ (J) で固定します。
2. ハンドル (A) とプラグ (B) を取り付けた状態でバックパイプ (C) をクランプに取り付け、10mmレンチを使用してクランプハンドル (E) とナット (G) を取り付けて固定します。

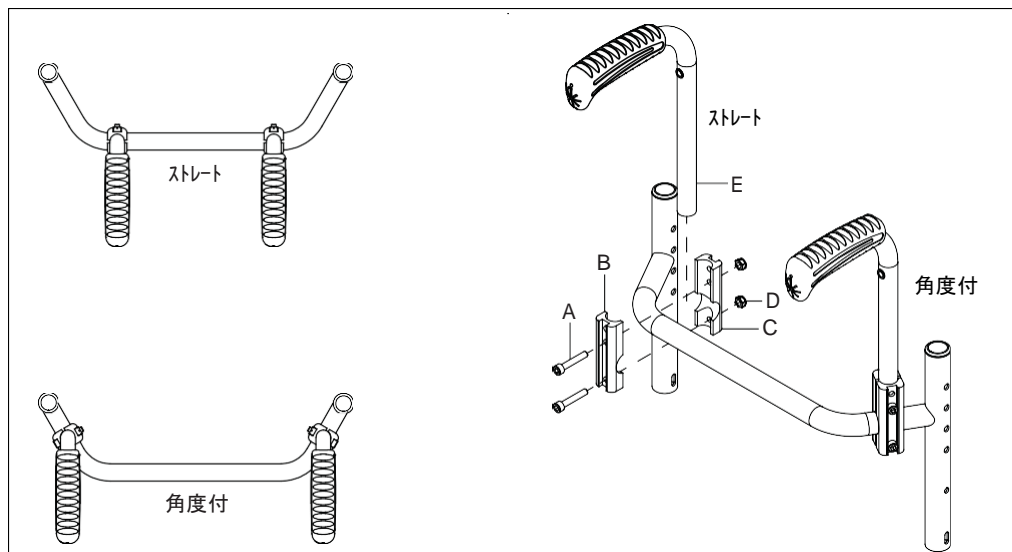
注：正しく取り付けられれば、バックパイプ下部の戻り止めボタンが所定の位置にカチッと合致します。



ボルト固定式プッシュハンドル

1. クランプ (B&C) とボルトオンプッシュハンドルチューブ (E) をリジッドバーに取り付け、5mm六角レンチを使用して2本のネジ (A) と2本のナット (D) で固定します。

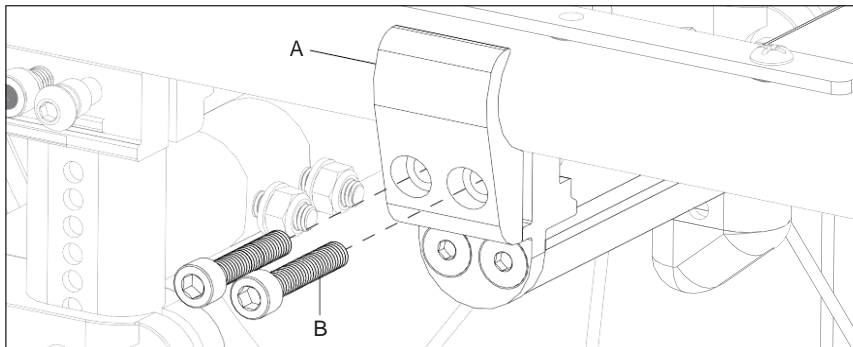
注：クランプは、まっすぐまたは角度を付けてリジッドバーに取り付けることができます。詳細については、下の画像を参照してください。



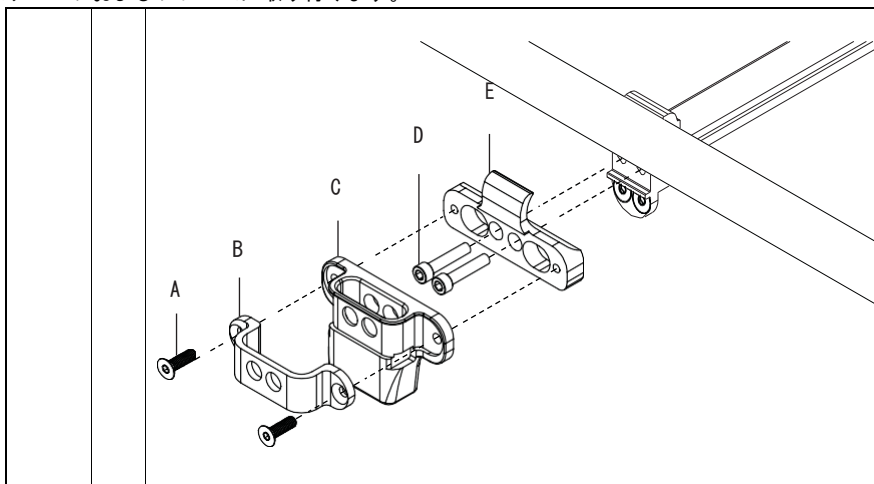
2. もう一方のボルトオンプッシュハンドルを使用して取り付け手順を繰り返します。

高さ調整式T型アームサポート

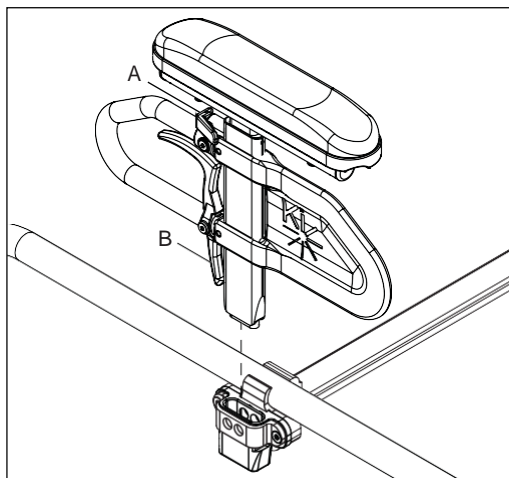
1. 5mm六角レンチを使用し、2本のネジ (B) と外側のクロスチューブブラケット (A) を取り外します。



Tアームマウント (E)、レシーバー (C)、ブラケット (B) を、5mm六角レンチを使用して4本のネジ (AとD) でクロスチューブおよびフレームに取り付けます。

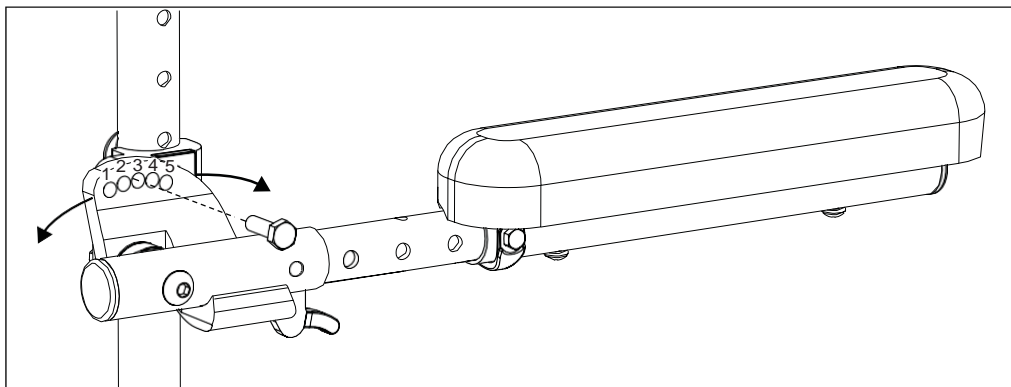


2. T型アームサポートアセンブリをレシーバーに取り付けます。ラッチ (B) が所定の位置に「カチッ」と音を立てていることを確認します。高さ調整レバー (A) を解除し、アームポストを上下にスライドさせて高さを調整します。反対側も同様に実施します。

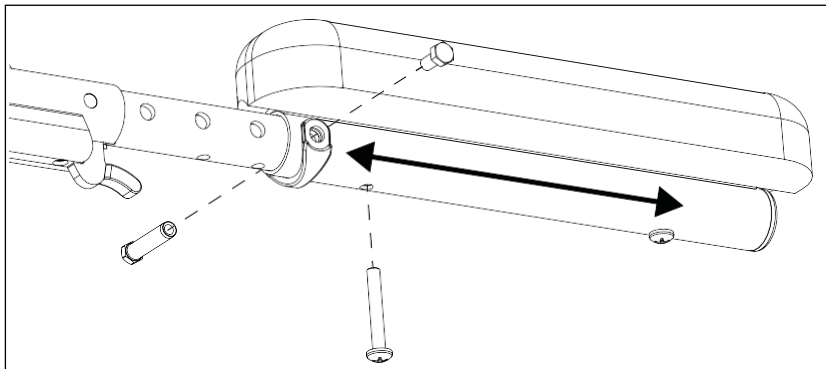


角度・長さ段階調整式フリップアップアームサポート

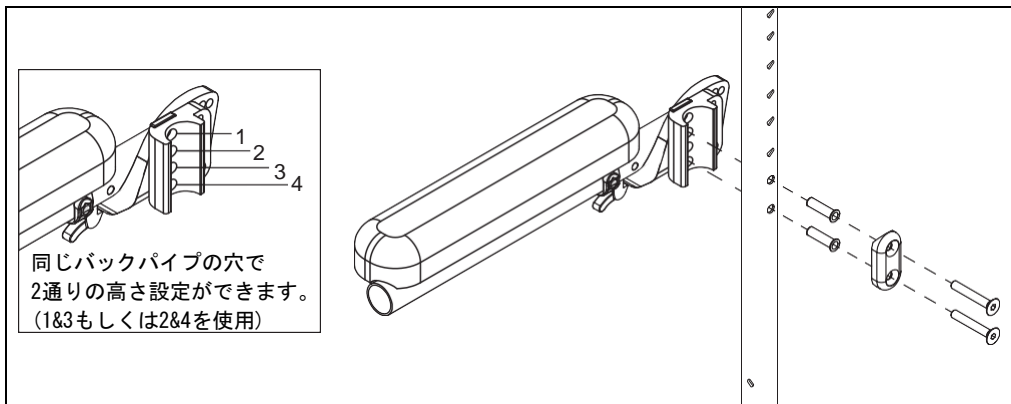
1. ボルトを抜いてアームサポートの角度を設定します。角度設定用の穴は5つあります。角度を設定したらボルトを締めます。



2. アームサポートの長さを設定します。長さを調整するには、チューブのボルトとスペーサー、およびバックサポートに最も近いネジを取り外します。アームサポートを目的の長さにスライドさせ、ネジとボルトを取り付け直します。



3. アームサポートの高さを設定します。アームサポートには4つの穴があり、バックパイプの穴のセットごとに2通りの高さを設定できます。ユーザーに適切な高さの穴を使用します。2本のボルトをスペーサー、スリーブ、バックパイプ、アームサポートに通します。

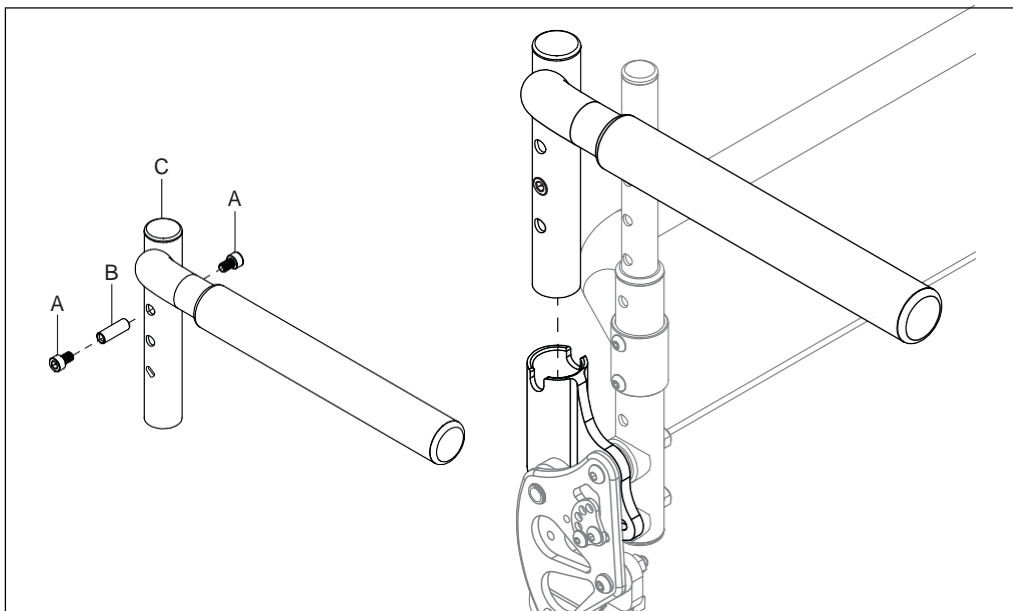


スイングアウト式アームサポート

1. バックサポートプレートからバックパイプを外し、2本のネジ (G&F) と2つのロックワッシャー (B&E) を使用して、角度調整カム (D) とともに、3mm六角レンチと4mm六角レンチでバックパイプとバックサポートプレート間にスイングアウェイレシーバー (A) を取り付けます。下図を参照してください。

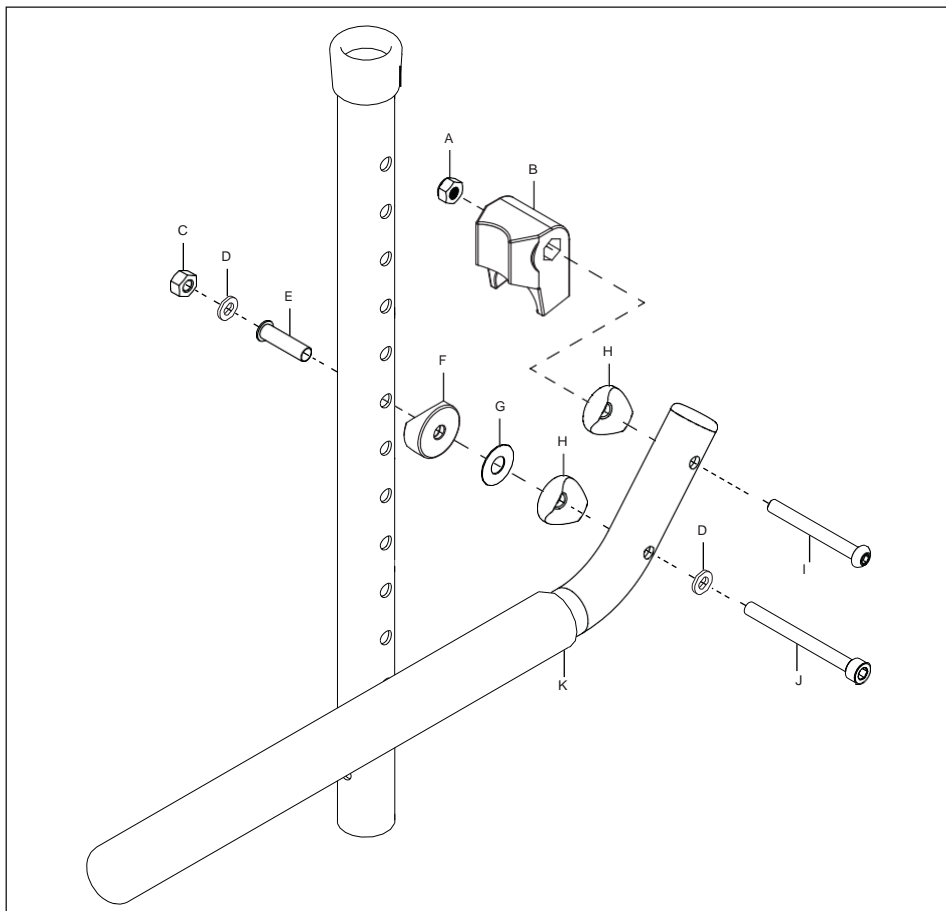
注：背折れ用ケーブルも取り外して、アームサポートレシーバーの穴に通し、バックサポートプレートに戻す必要があります。

2. 2本のボルト (A) とネジ付きバレル (B) をスイングアウト式アームサポート (C) に取り付けます。アームサポートをレシーバーに差し込むと、ボルトがストッパーとして機能し、アームサポートの高さを制御します。必要に応じて高さ設定を変更し、反対側も同様に実施します。



チューブラーフリップアップアームサポート

1. ストップブロック (B) を管状のフリップアップアームサポートチューブ (J) に取り付け、4mm六角レンチと10mmレンチを使用してボルト (H)、サドル (G)、ナット (A) で固定します。 4mm六角レンチと10mm六角レンチを使用して、ボルト (I)、2つのサドル (E&G)、ワッシャー (F)、スリーブ (D)、およびナット (C) を使用して、アームサポートチューブをバックサポートチューブ (車椅子の外側にマウント) に固定します。 反対側も同様に実施します。

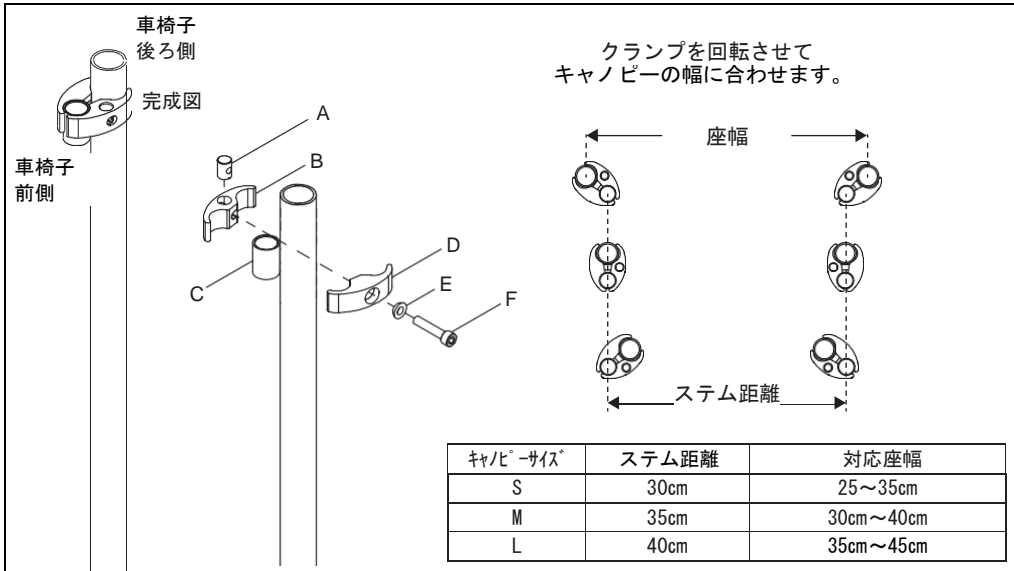


キャノピー

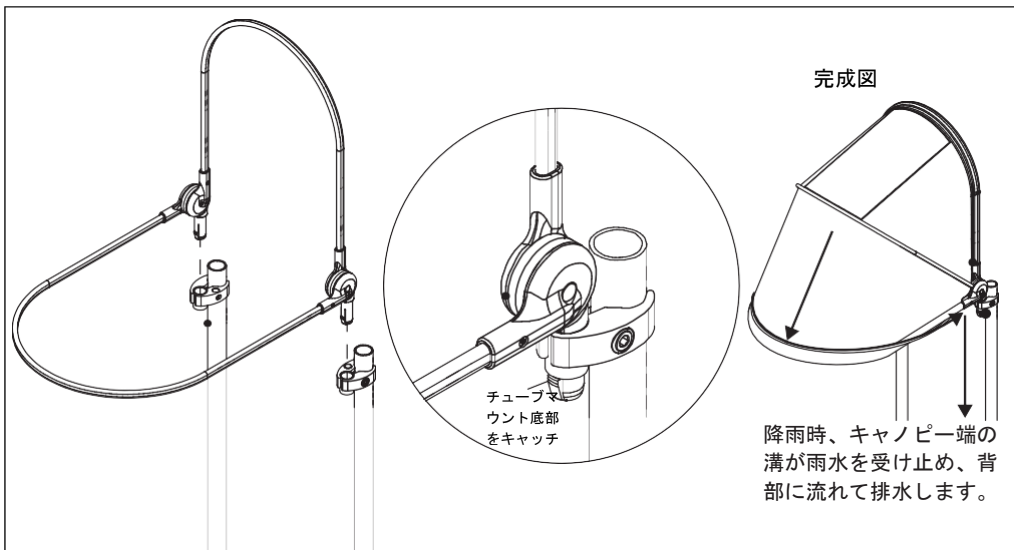
取り付け

1. チューブマウント(C)、インナークランプ(B)、アウトークランプ(D)、バレルナット(A)、球面ワッシャー(E)、ボルト(F)を5mm六角レンチを使用しバックパイプに取り付けます。反対側も同様に実施します。

注: クランプは、ステムに対して正しい距離を保ちながら、座幅に合わせて回転させる必要がある場合があります。別のキャノピーサイズが必要な場合は、次の表を参照してください。

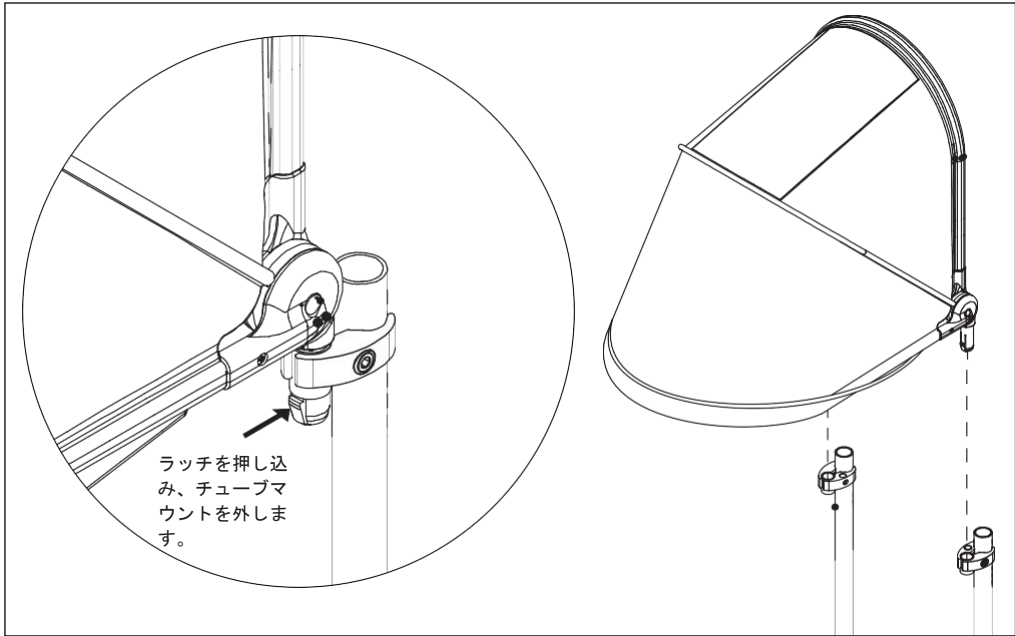


2. キャノピーアセンブリステムをチューブマウントに差込みます。ラッチキャッチを確認し、キャノピーアセンブリをチューブマウントに固定します。降雨時に対応する、布の端が折り畳まれて水を受け、後ろ側に排水する溝ができていないことを確認します。



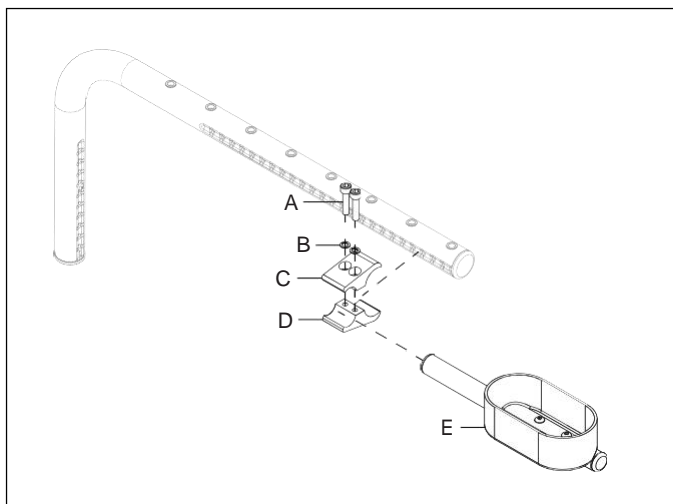
キャノピー

3. キャノピーを取り外すには、キャノピー根元両側のラッチを押し込み、持ち上げて外します。

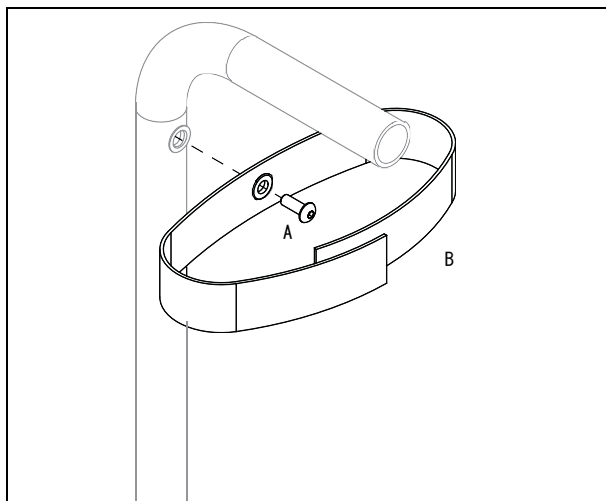


杖ホルダー

1. 5mm六角レンチを使用して2本のボルト (A) と2つのロックワッシャー (B) で2つのクランプ (CとD) を固定することにより、杖ホルダーカップ (E) を車椅子フレームの内側に取り付けます。



2. 3mm六角レンチを使用して、ボルト (A) でバックパイプの上部にベルクロストラップ (B) を取り付けます。



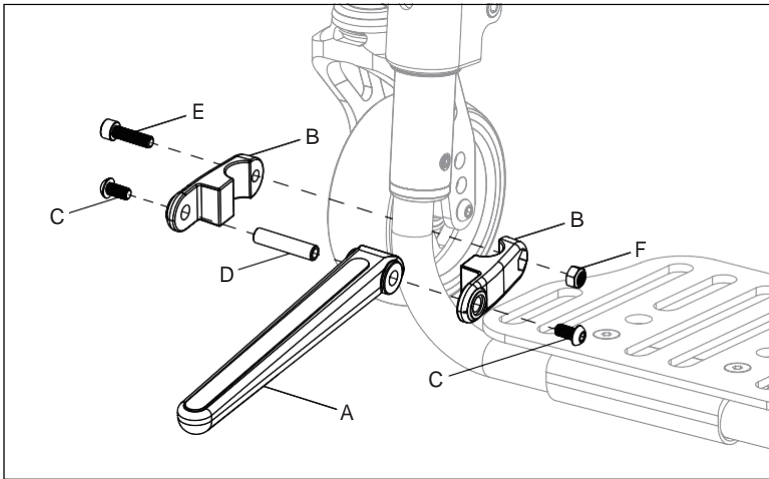
バッグキャリア

注：すべてのタイプの車椅子と構成に合うように、クランプにはさまざまなサイズがあります。キャリアは、固定車のフレームまたはフットサポートチューブに取り付けられ、Catalystおよびティルト型車椅子のフットサポートハンガーまたは延長チューブに取り付けられます。ハンガーが省略されている場合、キャリアは垂直フロントフレームチューブに取り付けられています。下の画像は、フットサポートエクステンション付きの車椅子に取り付けられているバッグキャリアを示しています。フレームでもフットサポートチューブでも、取り付け方は同じです。

1. 2本の4mm六角レンチを使用してクランプとフォークに2本のネジ (C) とバレルナット (D) を取り付け、バッグキャリアフォーク (A) とクランプ (B) を取り付けます。
2. 5mm六角レンチを使用して、クランプの裏側にネジ (E) とナット (F) を取り付けて締め、クランプを目的の場所に固定します。

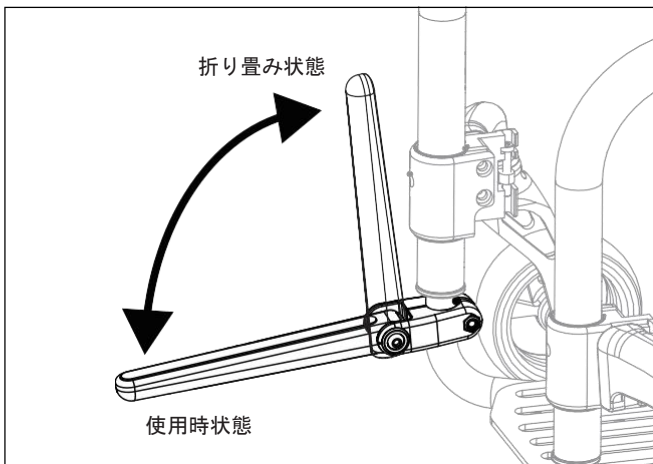
注：裏側のネジのナットは、クランプのくぼみに入ります。ナットが所定の位置に留まっていることを確認します。

3. 反対側も同様に実施します。



バッグキャリアの使い方

1. バッグキャリア使用時以外は折り畳んだ状態で車椅子をご使用ください。耐荷重は24.9kgです。



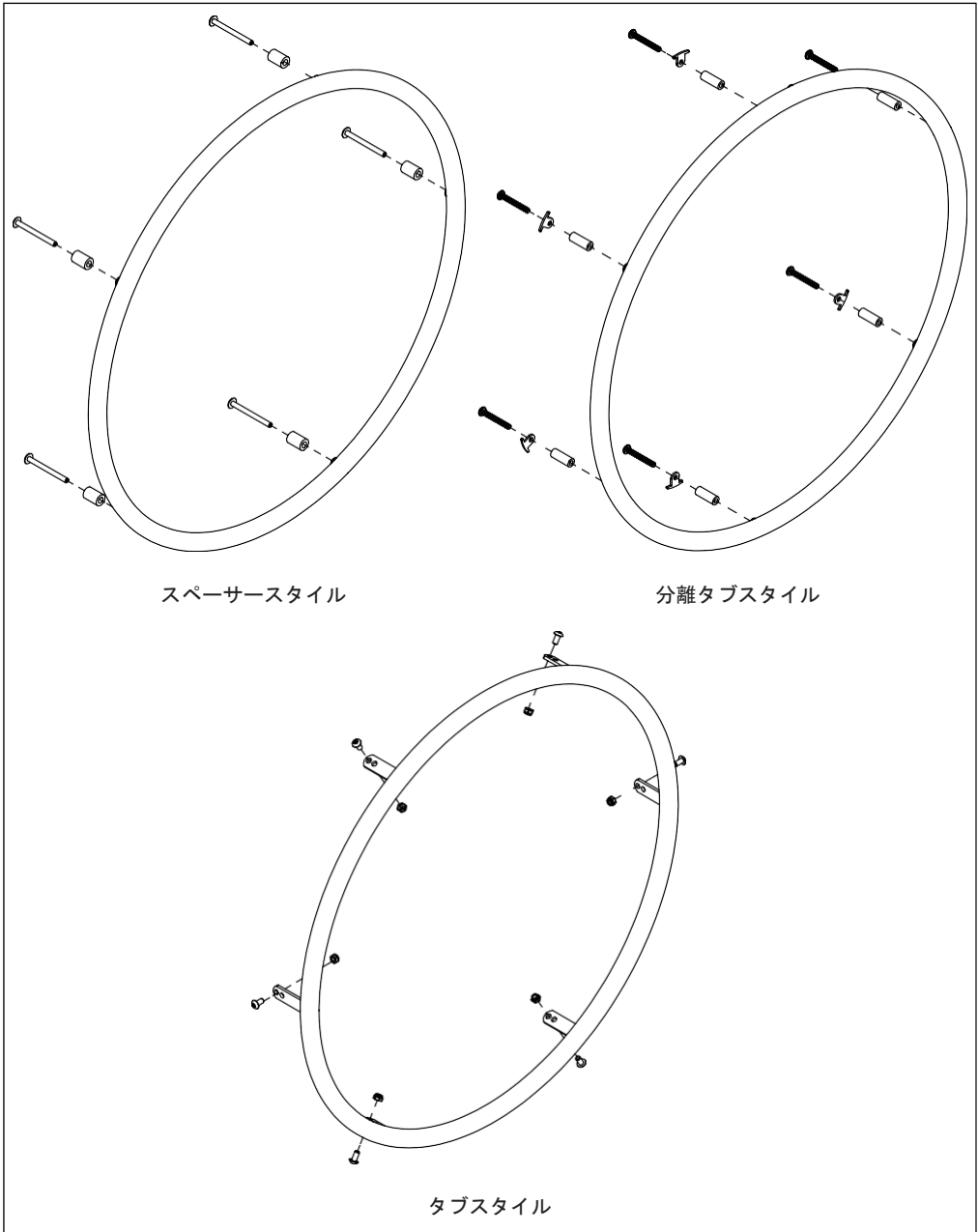
ハンドリム構成

注: 以下に示すすべてのホイールがどの機種でも使用できるわけではありません。ホイール設定の詳細については、オーダーフォームまたはオンラインパーツマニュアルを参照してください。

ハンドリム構成チャート													
ホイール		ハンドリム接合部				ハンドリム本体							
種類	品番	接続箇所数	タブ	スパーサー	ネジ	アルミ	スーパー ライト	プラスチ ックコー ティング	突起リム	チャル フィ ットス タング ード	チャル フィ ットLT	フレ ック スリ ム	
18" K1 スポーク	200529	3	100698	100653	アルミ、	100206		101106					
20" K1 スポーク	200530	6			プラスチ ックコー ティ ング、突 起リ ム: 100654	200536		200542					
22" K1 スポーク	200531				100560		100576	100569	200538	200201			
24" K1 スポーク 2	200532				200349		100577	200547	100793	200202			
25" K1 スポーク	200533				200350		101870	200548	200539	200540			
26" K1 スポーク	200534				200351		100835	200549	100907	101454			
24" ス パー ライ ト	101159				6			100536	100754	101161	100836		100830
25" ス パー ライ ト	101160					101197	101160	101091		101464	101460		
20" 5- スポーク Xコア	101961	5		アルミ、突 起リム、ナ チュラルフ ィット 100629	100724	101897		101963					
22" 5- スポーク Xコア	101962					101898		101964					
24" 5- スポーク Xコア	100960					100975	200546						
25" 5- スポーク Xコア	100960				101893		100768	100769					
20" Spiner gy Spox	Spiner gy Spox ページ 参照	6			ネジ 100669 ナット 100657	103125		103179					
22" Spiner gy Spox						100827		100808		100889	100888		
24" Spiner gy Spox						100766	101161	100615		100830	100828		
25" Spiner gy Spox						100767	101160	100765		101464	101460		
26" Spiner gy Spox						101477		101148		200200	100950		
22" Spiner gy LX						100827		100808		100889	100888		
24" Spiner gy LX	Spiner gy LX ページ 参照	6			ネジ 100669 ナット 100657	100766	101161	100615		100830	100828	200213	
25" Spiner gy LX						100767	101160	100765		101464	101460	200208	
26" Spiner gy LX						101477		101148		200200	100950		
22" Maxx Performance スポーク						105135	6	100698	100653	スパー ライ ト用 ネジ 100669	100560	101161	100576
24" Maxx Performance スポーク	105136	スパー ライ ト用 ナット: 100657	200349		100577	200547				100793	200202		
					ネジ (ス パー ライ ト除 く) 100654								

ハンドリム組立

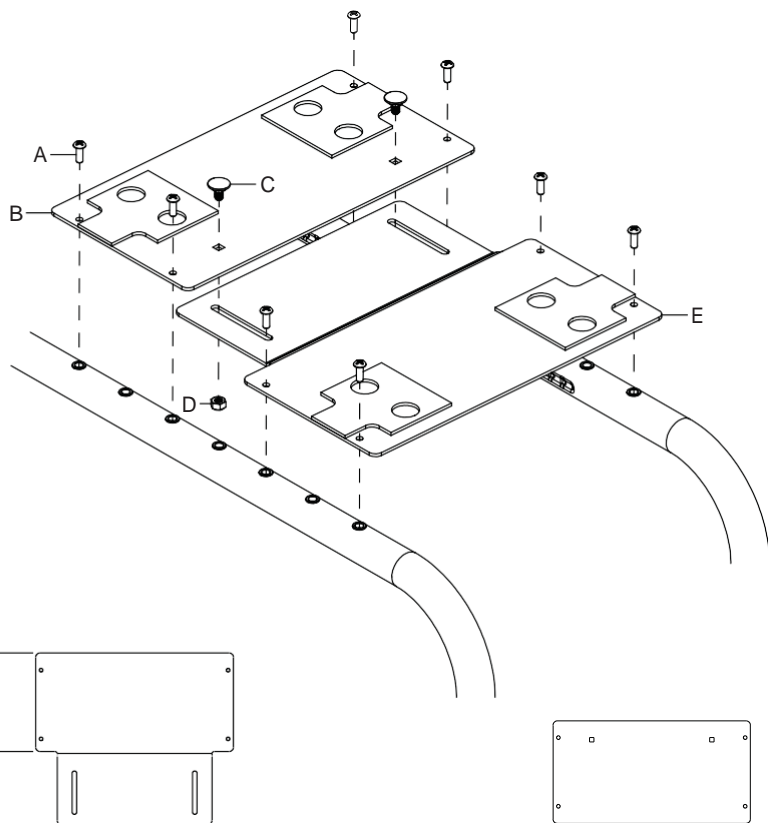
3種類のハンドリムのパーツ構成を以下に示します。ハンドリムのパーツ構成は、使用されるホイールに基づいて、前ページのチャートで決定されます。



調整式シートパン

フロントとリアの調整式シートパンはそれぞれ3つのサイズで提供され、20cmから45cmの座奥行範囲を可能にします。調整式シートパンの取り付けと調整については、以下の手順を参照してください。

1. プラスドライバーを使用して、4本のネジ (A) で前側調整式シートパン (E) をフレームに取り付けます。シートパンの広い部分は、椅子の前部に最も近い位置に取り付けます。
2. プラスドライバーを使用して、4本のネジ (A) で後側調整式シートパン (B) をフレームと前側調整式シートパンに取り付けます。シートパンの奥行は、10mmレンチを使用して後部および前部の調整式シートパンに取り付けられた2つのボルト (C) と2つのナット (D) によって調整します。



フロント

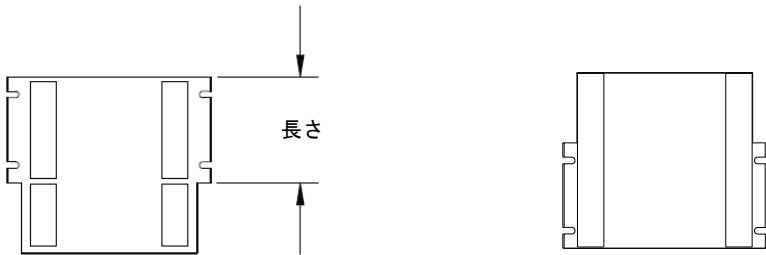
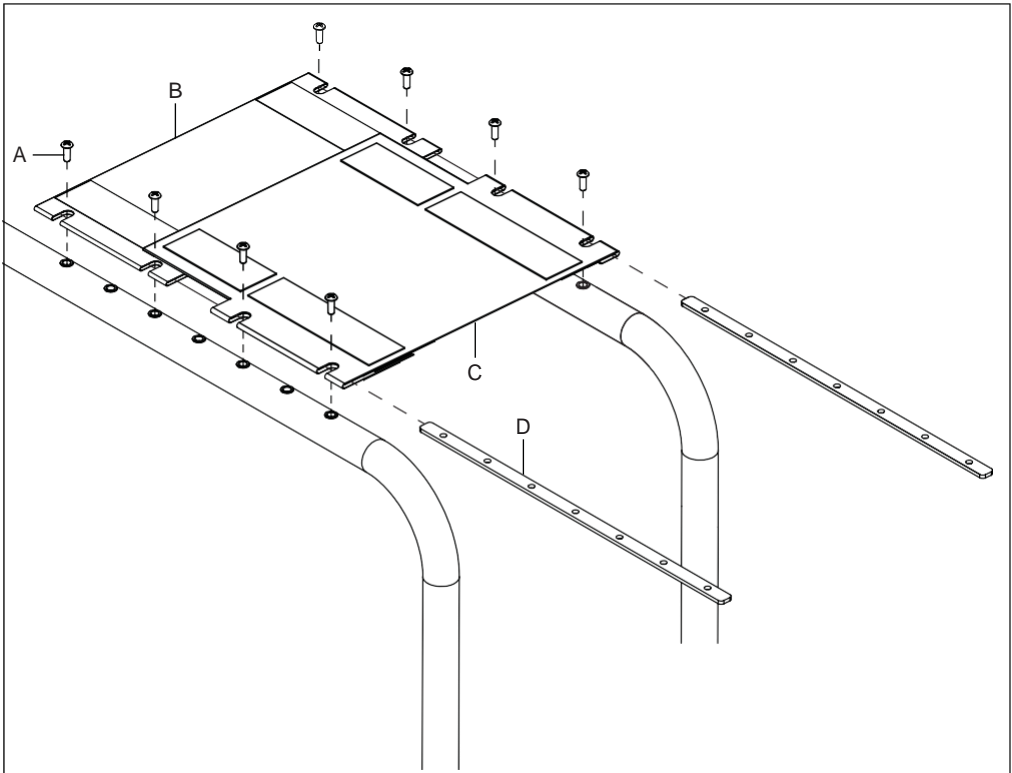
品番	長さ	座奥行
001950-001958	10.1cm	20~28cm
001966-001976	15.2cm	30~33cm
001988-001997	20.3cm	35~45cm

リア

品番	長さ	座奥行
001959-001965	10.1cm	20~23cm
001977-001987	15.2cm	25~38cm
001998-002005	20.3cm	40~45cm

調整式スリングシート

1. フロントスリングシート (C) をリアスリングシート (B) にセットし、シートレール (D) をスリングシートの端にあるポケットに挿入します。
2. プラスドライバーを使用し、ネジ (A) でスリングシートを車椅子に固定します。



フロント		
品番	長さ	座奥行
002331-002339	10.1cm	20~28cm
002347-002361	15.2cm	30~33cm
002374-002383	20.3cm	35~45cm

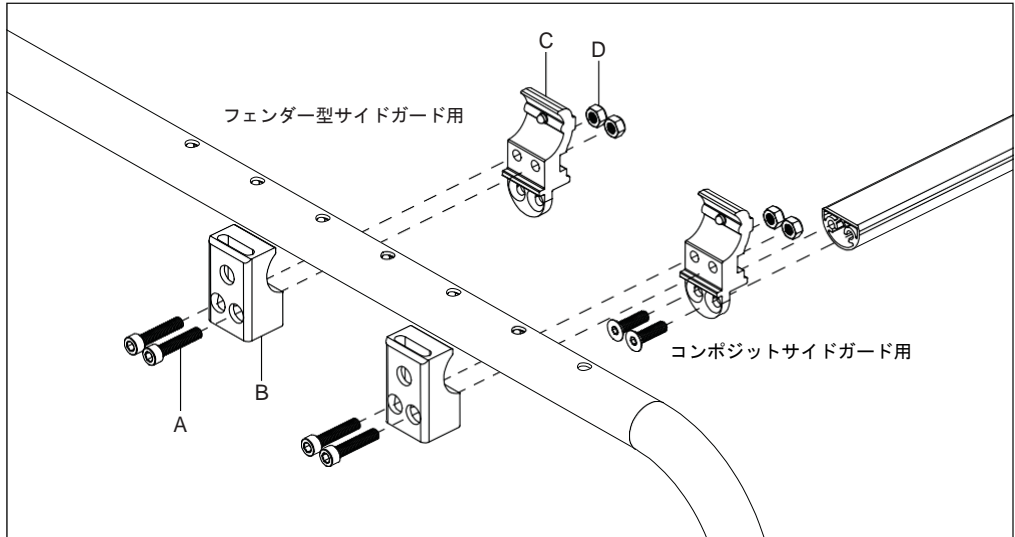
リア		
品番	長さ	座奥行
002340-002346	10.1cm	20~23cm
002363-002373	15.2cm	25~38cm
002384-002391	20.3cm	40~45cm

サイドガード

サイドガードレシーバー

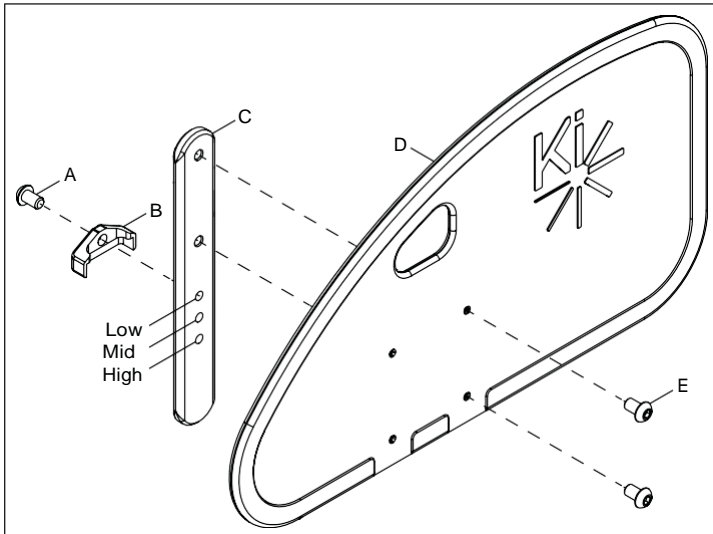
注：コンジットサイドガードレシーバーを取り付ける場合は、取り付ける前に、ネジ類と外側のクロスチューブクランプを取り外します。

1. サイドガードクランプ (B) とクロスチューブマウント (C) を、5mm六角レンチと10mmレンチを使用して、2本のネジ (A) と2本のナット (D) でフレームに取り付けます。コンジットサイドガードレシーバーを取り付ける場合、クロスチューブマウントはすでにクロスチューブに取り付けられています。



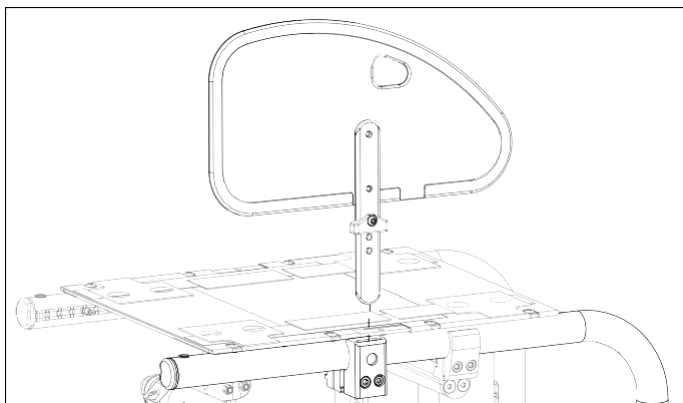
着脱式成人用サイドガード

1. 4mm六角レンチを使用して、成人用サイドガード (D) に2本のネジ (A) でサイドガードポスト (C) を取り付けます。反対側に、4mm六角レンチを使用してネジ (A) でサイドガードポストストップ (B) を取り付けます。
2. 注：サイドガードポスト (C) をサイドガードに取り付けることができる穴は2セットあります。サイドガードを希望の位置に配置する穴を選択します。高さもサイドガードポストストップ (B) を取り付けられた穴で調整します。



サイドガード

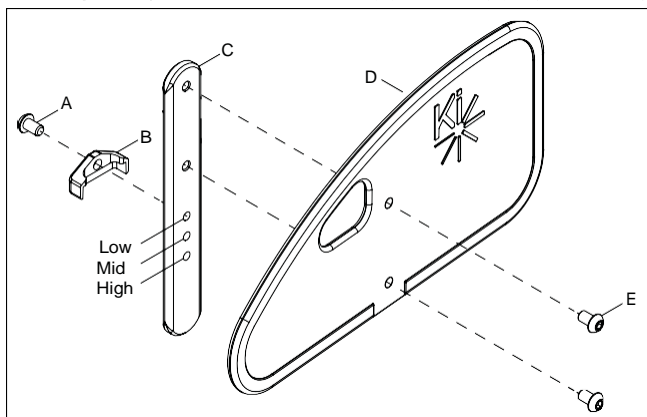
3. サイドガードポストストップが車椅子の外側を向くようにして、サイドガードアセンブリをレシーバーに取り付けます。



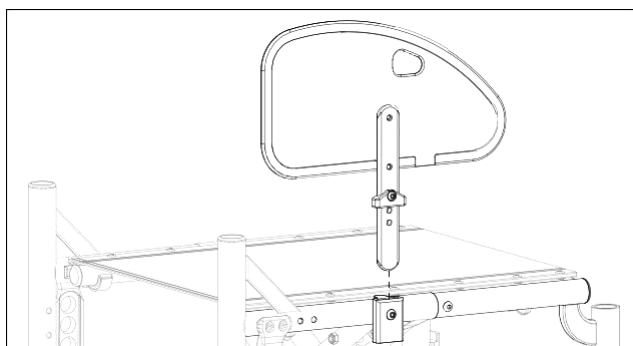
着脱式小児用サイドガード

1. 4mm六角レンチを使用して、2本のネジ (A) で小児用サイドガード (D) にサイドガードポスト (C) を取り付けます。反対側に、4mm六角レンチを使用してネジ (A) でサイドガードポストストップ (B) を取り付けます。

注：小児用サイドガードの高さは、サイドガードポスト (C) の3つの穴で調整できます。

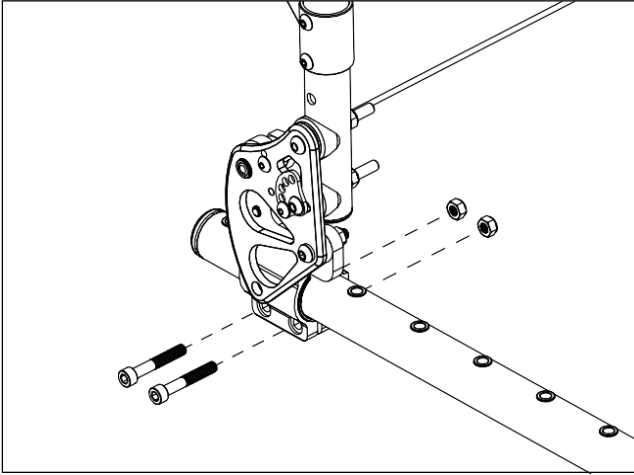


2. サイドガードポストストップが車椅子の外側を向くようにして、サイドガードアセンブリをレシーバーに取り付けます。

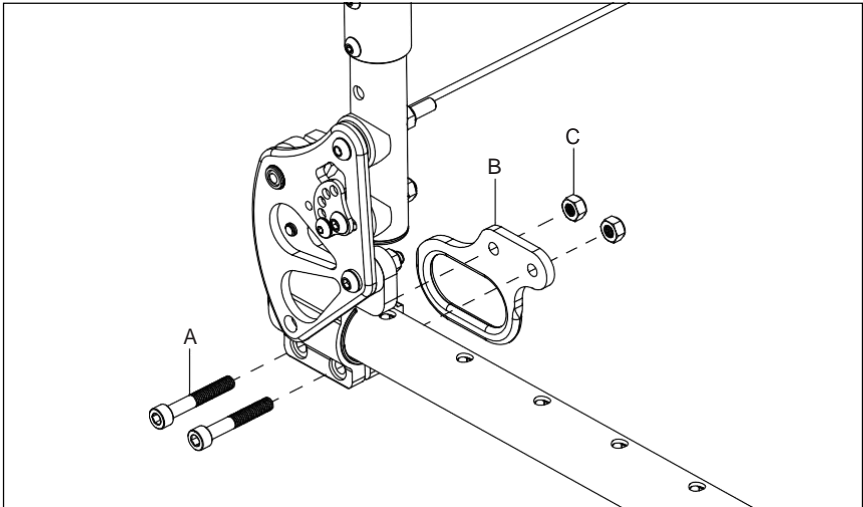


車載用金具

1. 5mm六角レンチと10mmレンチを使用し、バックサポートクランプのネジ類を取り外します。ネジ類は保管しておきます。

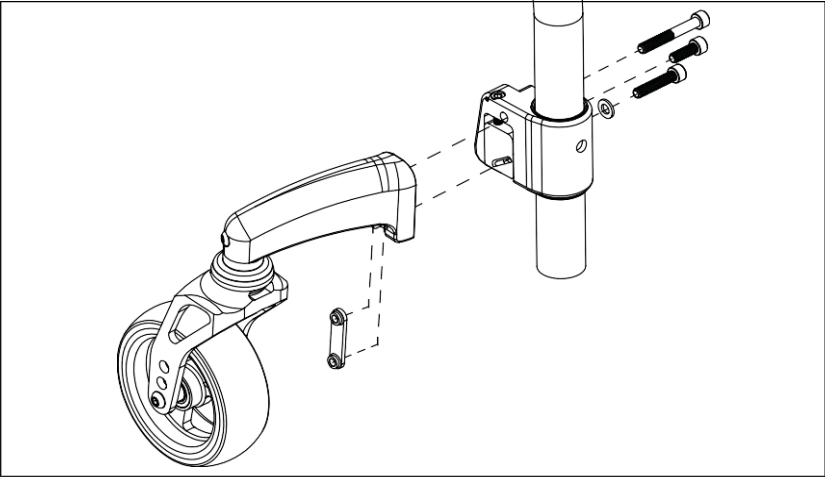


2. 後部車載用金具 (B) を、車椅子内側部分のバックサポートクランプの外側に取り付けます。後部車載用金具は、5mm六角レンチと10mmレンチを使用し2本のボルト (A) と2本のナット (C) で固定します。ループ部分は車椅子の後ろを向いている必要があります。下の画像を参照してください。

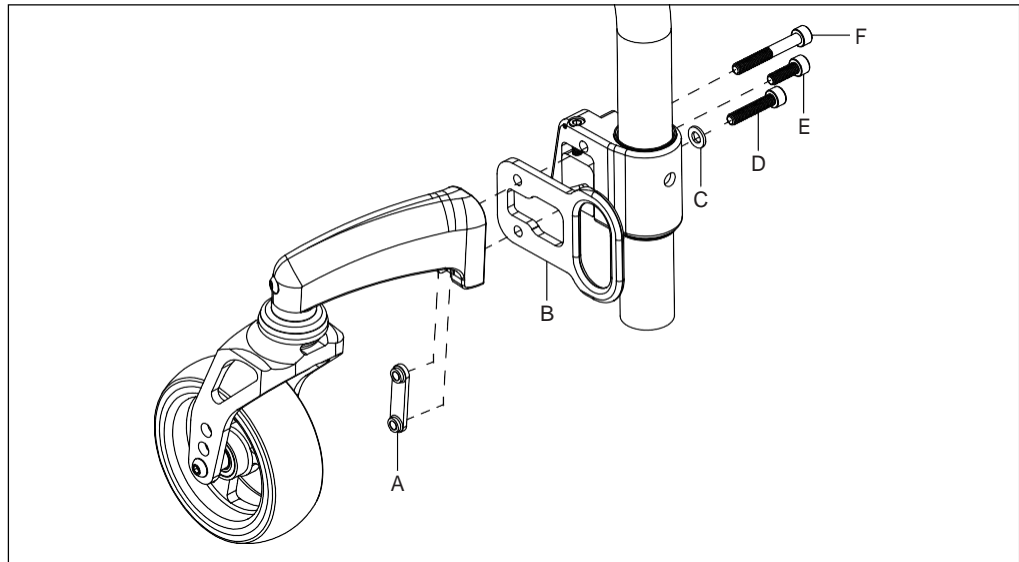


車載用金具

3. 5mm六角レンチを使用してネジ類を外し、キャストアームをキャストマウントから取り外します。

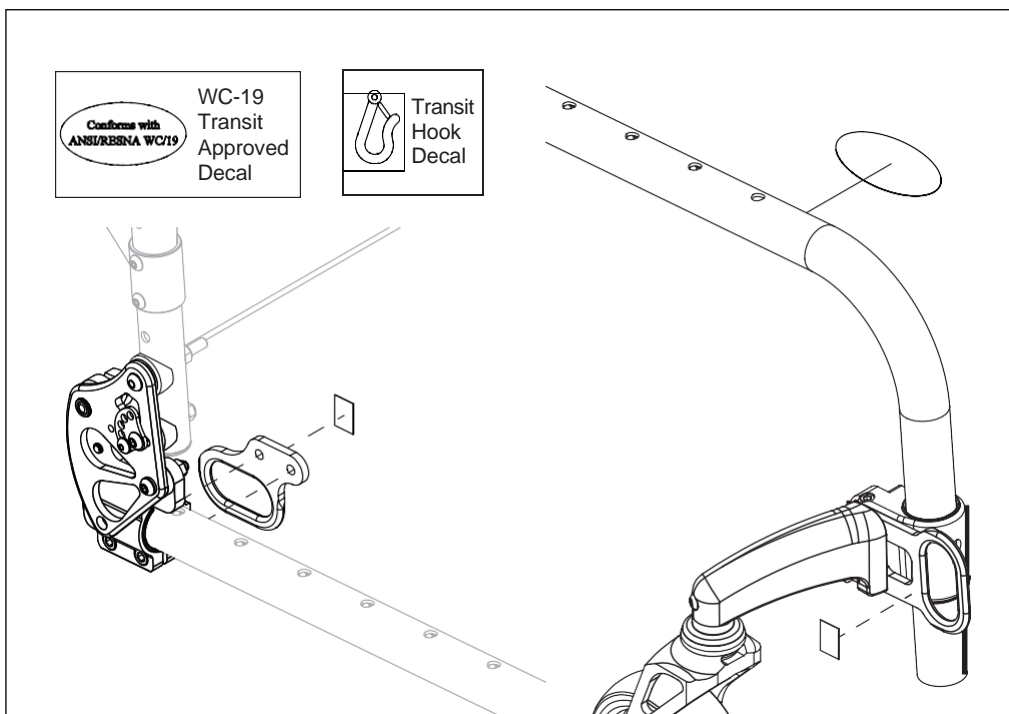


4. 前側車載用金具をキャストアームとキャストマウントの間に挟み、5mm六角レンチを使用して3本のボルト、ワッシャー、および2穴ナットで固定します。



車載用金具

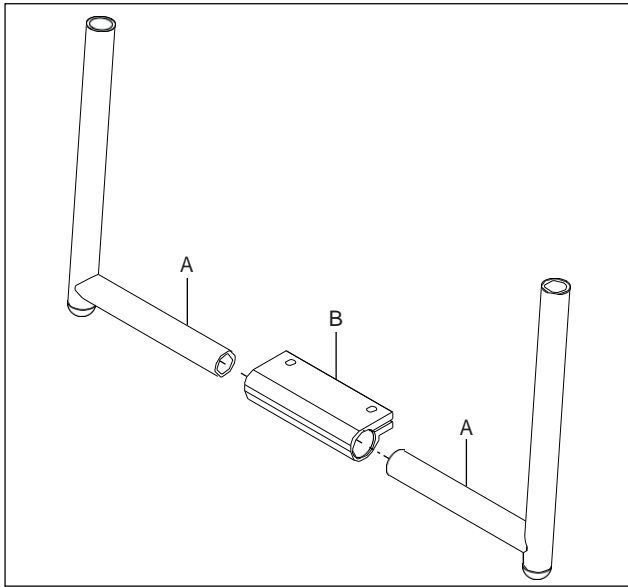
5. 各車載用金具の側面にフックを描いたシールを張り付けます。
6. WC-19 Transit Approvedシールを、フレームチューブの下部の後側車載用金具の近くに取り付けます。



7. 同様の手順で、反対側にも後側車載用金具と前側車載用金具を取り付けます。前側と後側が2つずつ、合計4つ取り付けます。

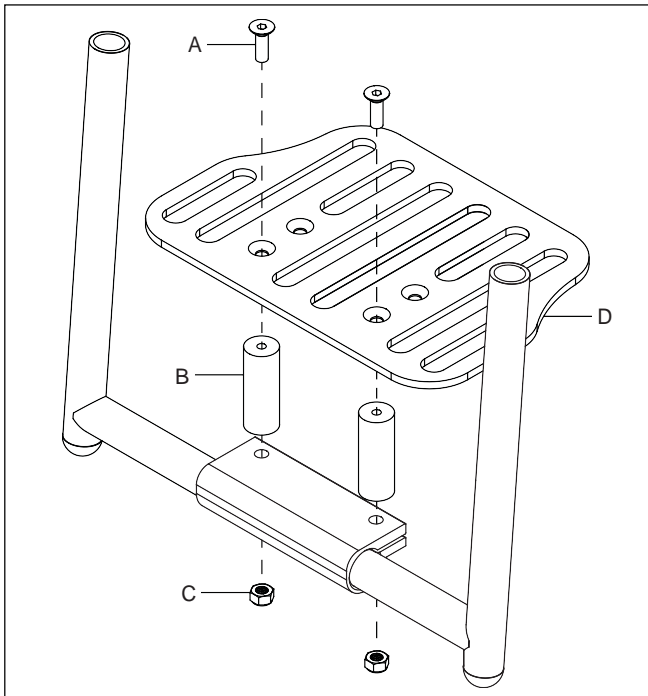
角度調整式アルミフットサポート

1. フットサポート延長チューブ (A) にフットサポートクランプ (B) を取り付けます。



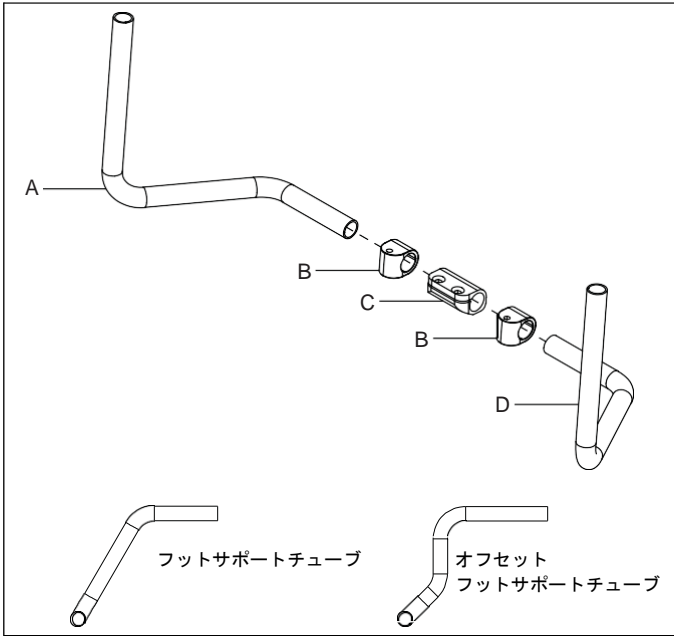
2. フットプレート (D) を、5mm六角レンチと10mmレンチを使用して2本のネジ (A) と2本のナット (C) でフットサポートクランプに固定します。ライザー (B) を使用してフットプレートを持ち上げる場合は、フットプレートとフットサポートクランプの間に取り付けます。

注：フットプレートのネジ類を締める前に、フットサポートの幅が目的の幅に設定されていることを確認してください。

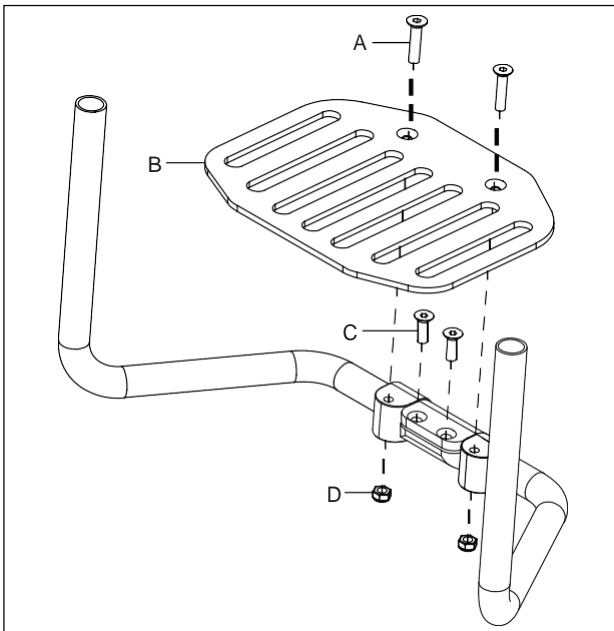


角度調整式アルミフットプレート後方フリップアップ

1. フットサポートチューブ (AおよびD) にピボット (B) とフットサポートクランプ (C) を取り付けます。
2. 注: フットサポートチューブとオフセットフットサポートチューブを以下に示します。 取り付け方は、両方のフットサポートチューブで同じです。

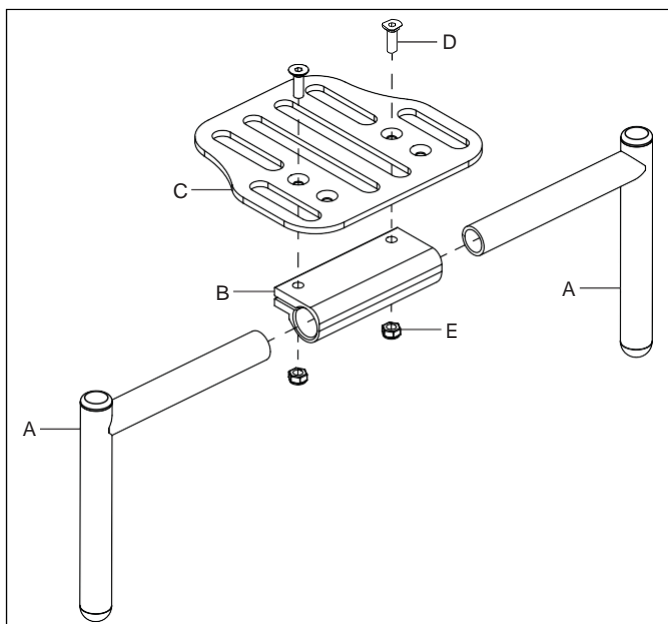


3. 5mm六角レンチを使用し、2本のネジ (C) でフットサポートクランプとフットサポートチューブを固定します。 5mm六角レンチを使用し、2本のネジ (A) と2本のナット (D) でフットプレート (B) をフットサポートクランプに取り付けます。

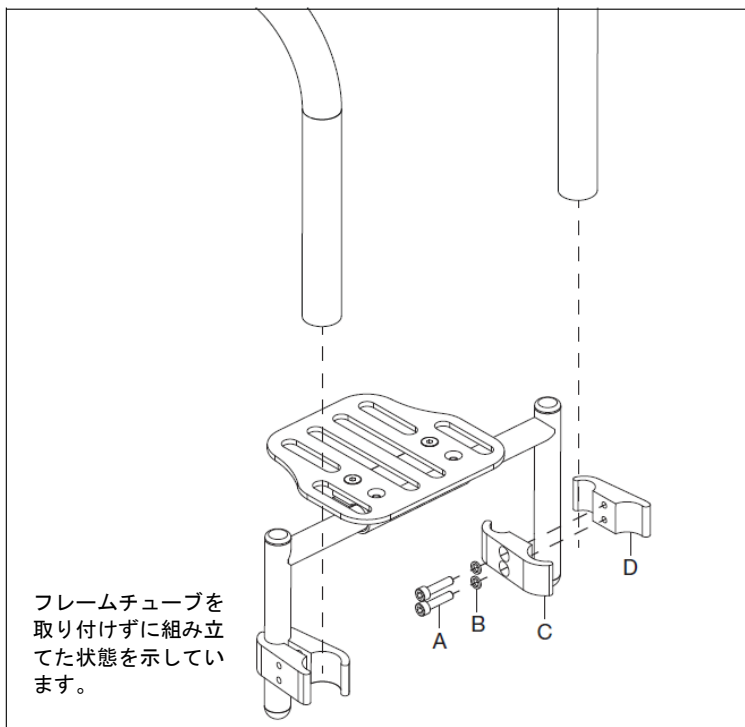


角度調整式アルミフットプレートハイマウント

1. フットサポートチューブ (A) をフットサポートクランプ (B) に取り付け、5mm六角レンチを使用してフットプレート (C) を2本のネジ (D) と2個のナット (E) でクランプに取り付けて固定します。

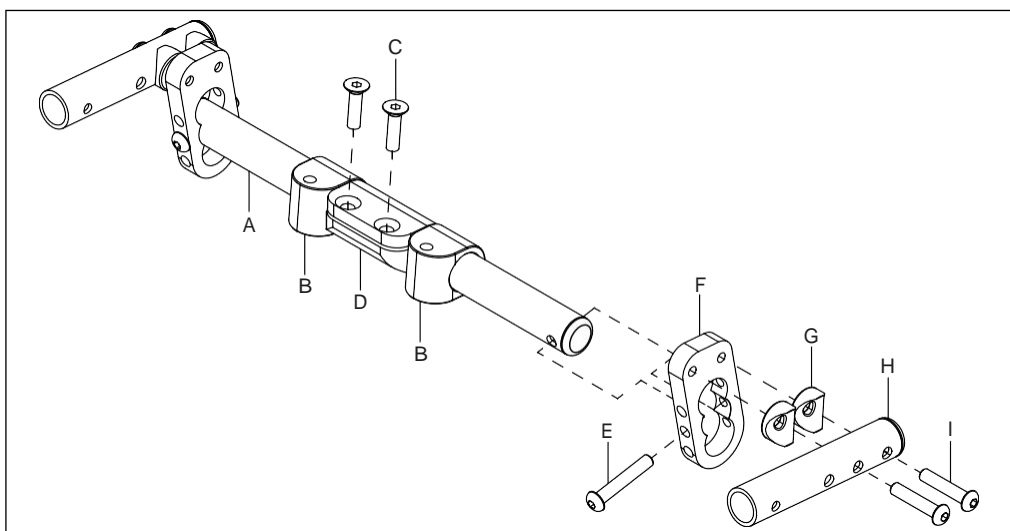


2. 2つのクランプ (CおよびD) を、一方の端をフットサポートチューブに、もう一方をフレームチューブの周りに、5mm六角レンチを使用し2本のネジ (A) と2個のロックワッシャー (B) で取り付けます。

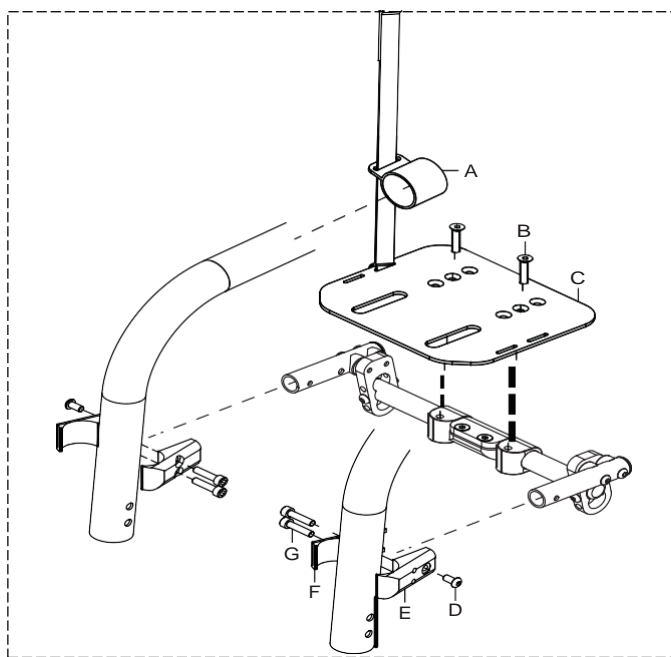


角度調整式アルミフットプレートハイマウント後方フリップアップ

1. ピボット (B) とクランプ (D) をフットサポートチューブ (A) に取り付け、5mm六角レンチを使用して2本のネジ (C) で固定します。
2. ブラケット (F) をフットサポートチューブの端に取り付け、4mm六角レンチを使用してネジ (E) で固定します。
3. 4mm六角レンチを使用して、フットサポートフリップマウントチューブ (H) を2本のネジ (I) と2本のサドル (G) でブラケットに取り付けます。



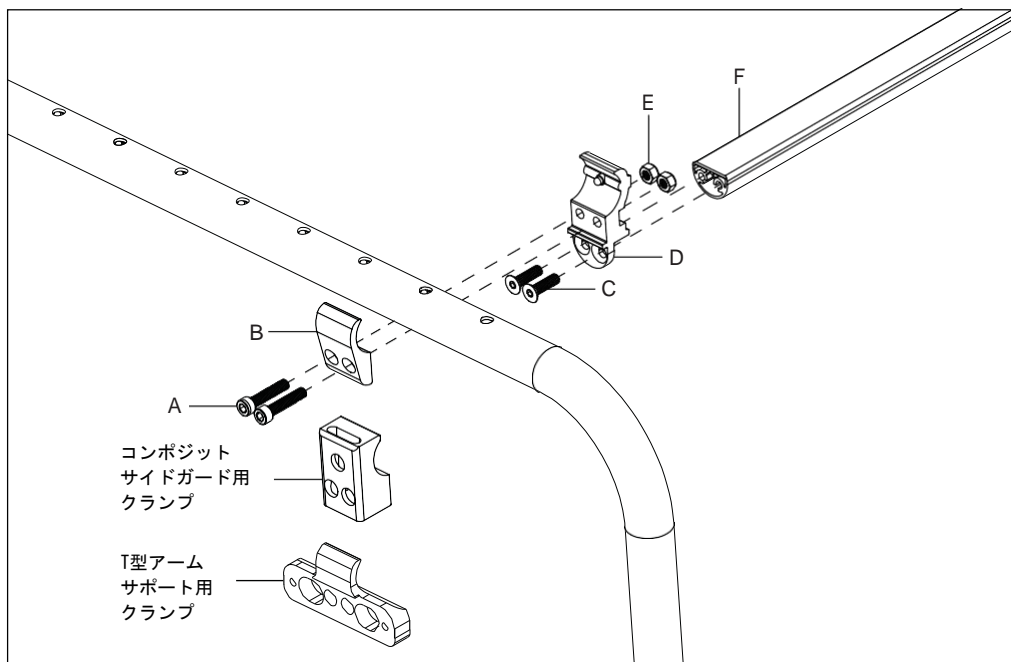
4. 5mm六角レンチを使用し、2本のネジ (B) でフットプレート (C) をピボットに取り付けます。 フットプレートを取り付ける際、フリップフットストラップ (A) にフレームチューブを通します。
5. 4mm六角レンチと5mm六角レンチを使用し、上部と下部のフットプレートクランプ (E&F) をフットサポートチューブとフレームチューブに3本のネジ (D&G) で取り付けます。



クロスブレース

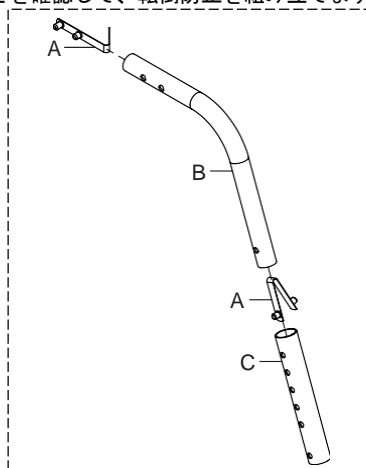
1. 5mm六角レンチを使用して、2本のネジ (C) でクロスチューブ (F) を内側クランプ (D) に取り付けます。反対側も同様に実施します。
2. 5mm六角レンチを使用して、2本のネジ (A) と2本のナット (E) を内側クランプから外側クランプ (B) に取り付けて、クロスチューブアセンブリを車椅子のフレームに取り付けます。反対側も同様に実施します。

注： コンポジットサイドガードまたはT型アームサポートを使用する場合は、外部クランプのデザインが変わります。 これらで使用されるクランプについては、下の画像を参照してください。

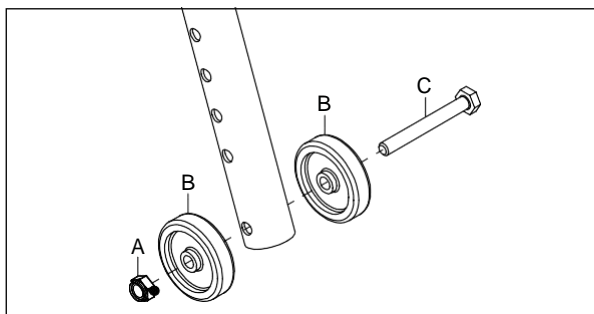


転倒防止装置

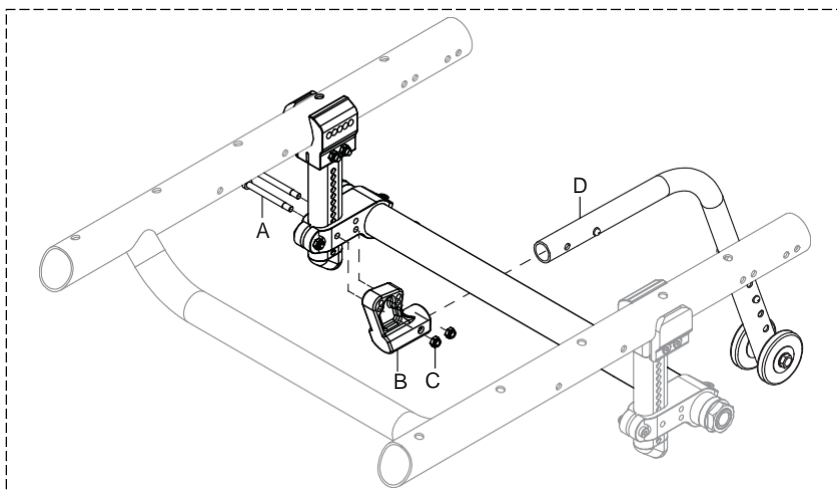
1. 2つの転倒防止チューブ (BとC) を接続し、戻り止めボタン (A) がかみ合ったときに、それらが一緒に「カチッ」と音を立てることを確認して、転倒防止を組み立てます。



2. 2つの10mmレンチを使用して、ボルト (C) とナット (A) を使用してホイール (B) を転倒防止チューブに取り付けます。



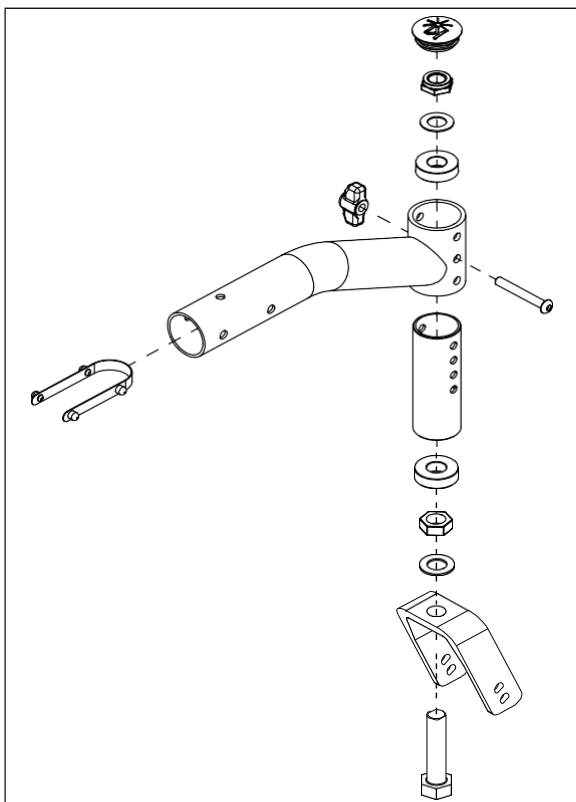
3. 4mm六角レンチと8mmレンチを使用して、2本のネジ (A) と2本のナット (C) で、転倒防止レシーバー (B) をキャンパーチューブ取り付けクランプに取り付けます。戻り止めボタンが所定の位置に「カチッ」と音がするまで、転倒防止アセンブリ (D) をレシーバーに取り付けます。



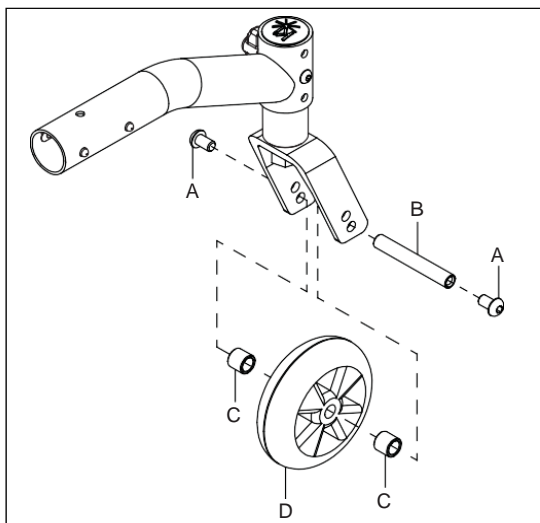
5ホイール

スタンダード5ホイール

1. 2本の1/2インチレンチを使用し、下図のように5ホイールアームマウントを組み立てます。



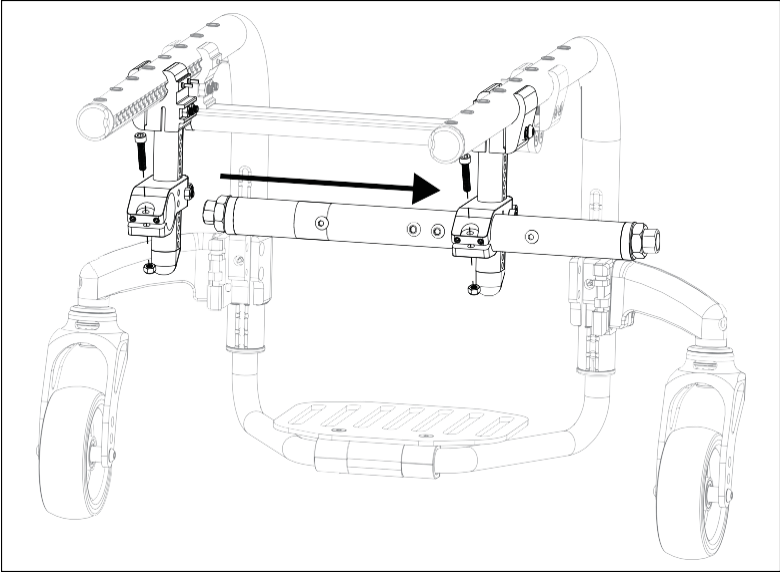
2. 2本の4mm六角レンチを使用し、2本のネジ (A)、ネジ付きパレル (B)、および2本のキャスタースペーサー (C) を使用でキャスター (D) を5ホイールマウントフォークに取り付けます。



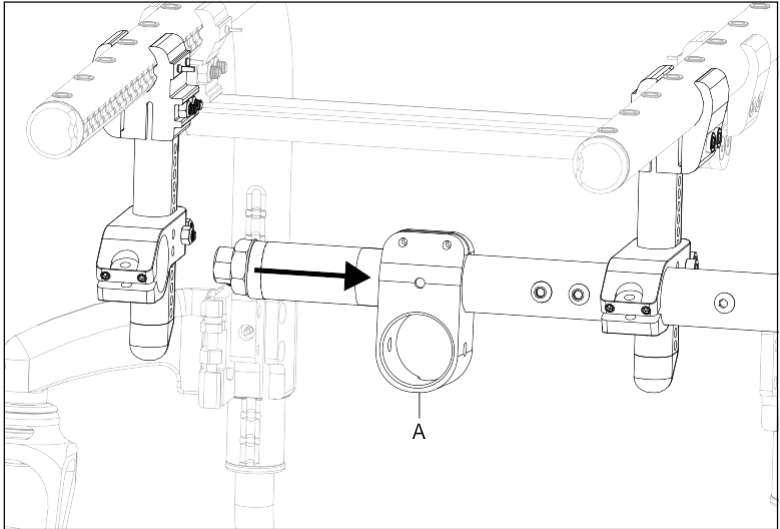
5ホイール

3. 4mm六角レンチと8mmレンチを使用し、ボルトとナットを両側から取り外して、キャンバーチューブ
マウントクランプを緩めます。 下図のように、キャンバーチューブを半分までスライドさせます。

注：スタンダード5ホイールに後付けする場合は、新しいキャンバーチューブが必要になるため、キャン
バーチューブを完全に取り外してください。

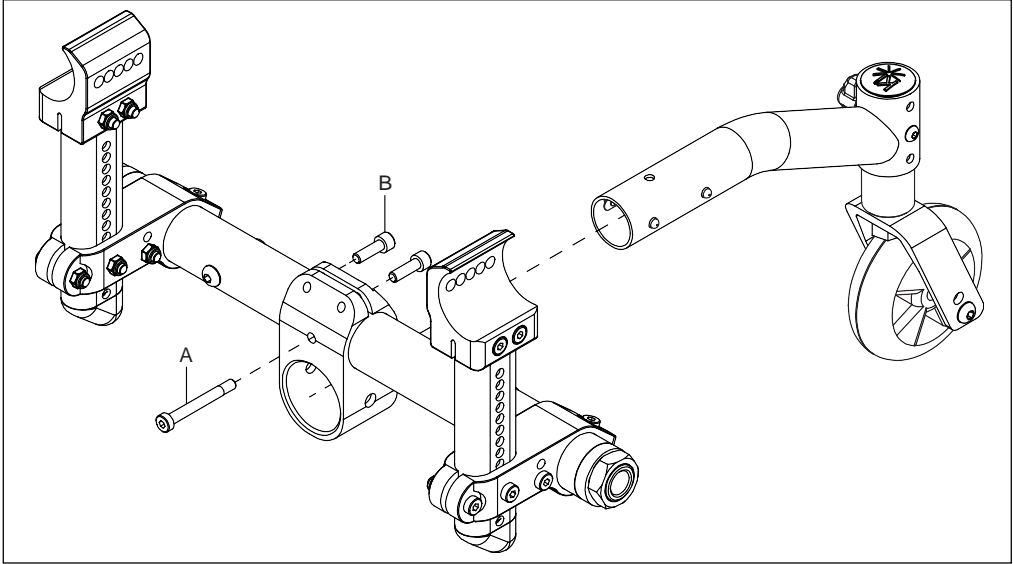


4. 5ホイールマウントクランプ (A) をキャンバーチューブにスライドさせます。キャンバーチュー
ブをスライドさせて標準位置に戻し、ネジ類を再度取り付けキャンバーチューブを所定の位
置に固定します。



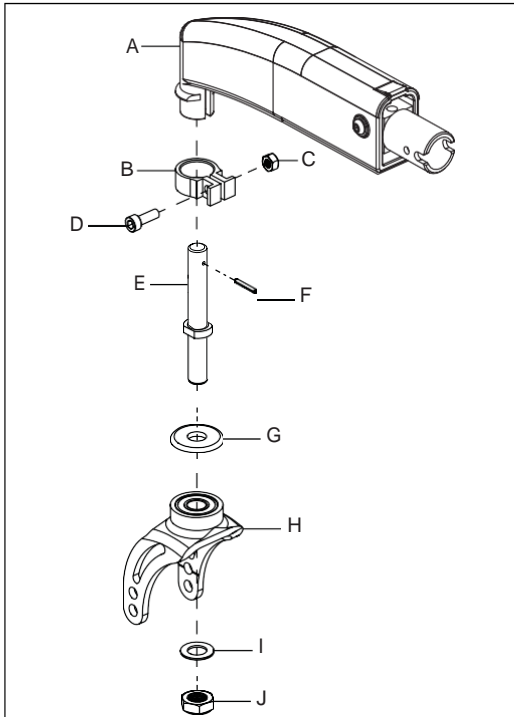
5ホイール

- 5ホイールマウントクランプを中央に配置し、4mm六角レンチを使用して3本のネジ（AおよびB）で所定の位置に固定します。5ホイールをクランプに取り付け、戻り止めボタンが「カチッ」と音がするか、所定の位置にロックされていることを確認します。



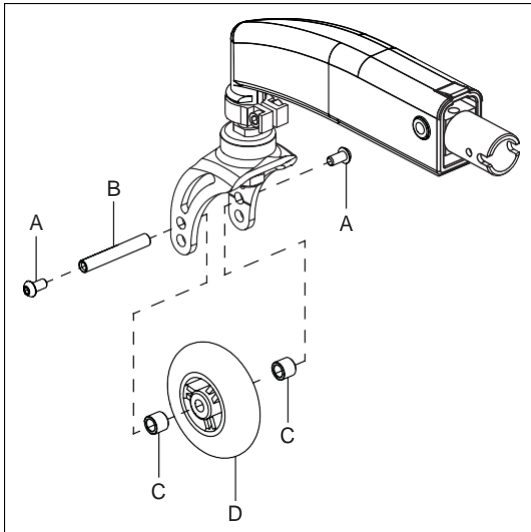
ダイナミック5ホイール

- 1/2インチレンチ、10mmレンチ、および5mm六角レンチを使用して、下図のように5ホイールアームマウントを組み立てます。



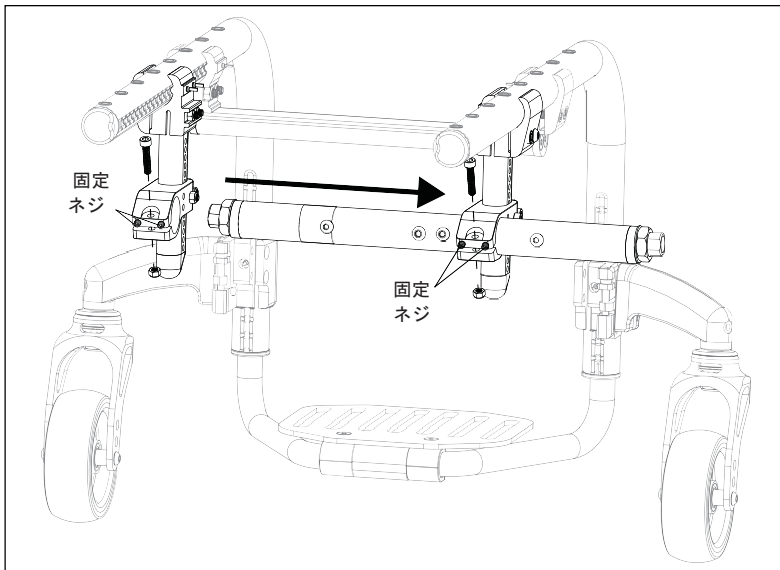
5ホイール

2. 2本の4mm六角レンチを使用して、2本のネジ (A)、ネジ付きパレル (B)、および2本のキャスタースペーサー (C) でキャスター (D) を5ホイールマウントフォークに取り付けます。



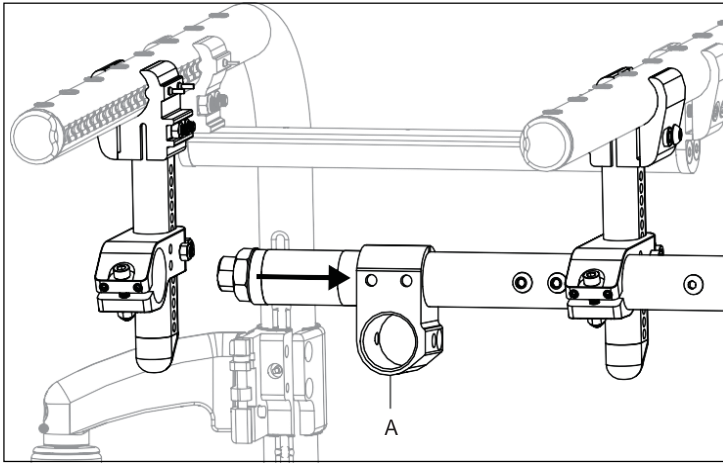
3. 4mm六角レンチと8mmレンチを使用し、ボルトとナットを両側から取り外し、キャンパーチューブマウントクランプを緩めます。2.5mm六角レンチを使用し、キャンパーチューブマウントクランプの4本の固定ネジを緩めます。下図のように、キャンパーチューブを半分までスライドさせます。

注：ダイナミック5ホイールに後付けする場合は、新しいキャンパーチューブが必要になるため、キャンパーチューブを完全に取り外してください。

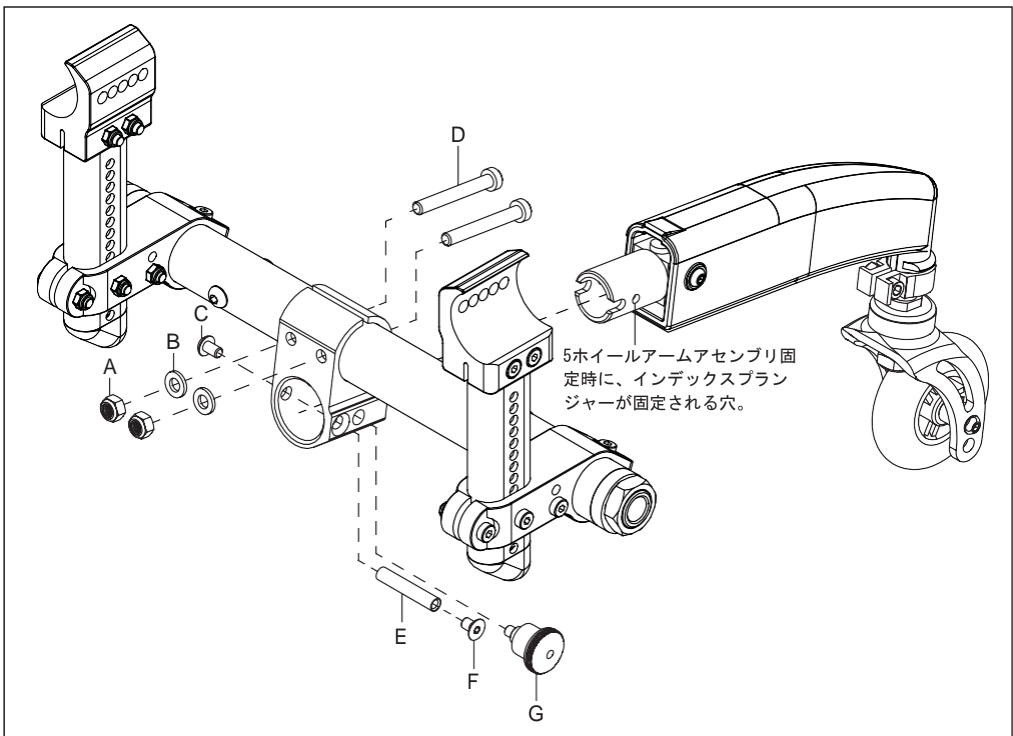


5ホイール

4. 5ホイールマウントクランプ (A) をキャンパーチューブにスライドさせます。キャンパーチューブをスライドさせ標準位置に戻し、ネジ類を再度取り付けキャンパーチューブを固定します。



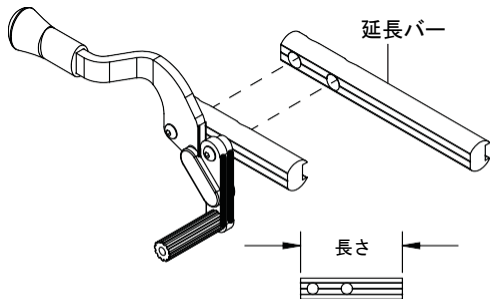
5. ダイナミック5ホイールマウントクランプを中央に配置し、5mm六角レンチと10mmレンチを使用して2本のネジ (D)、2枚のワッシャー (B)、2本のナット (A) で固定します。2本の3mm六角レンチを使用して、2本のネジ (F)、ネジ付きパレル (E)、およびインデックスプランジャー (G) を取り付けます。5ホイールをクランプに取り付け、インデックスプランジャーを引き出し5ホイールを挿入してから、インデックスプランジャーを戻して所定の位置に固定します。インデックスプランジャーは、5ホイールのチューブ穴に再挿入すると、5ホイールを所定の位置に固定します。



ブレーキ

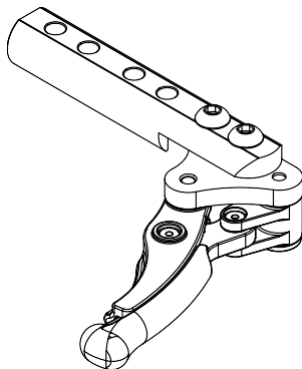
使用可能なブレーキの種類については、下図を参照してください。ブレーキランプの取り付けは次のページです。

フラットレベル押し掛けブレーキ

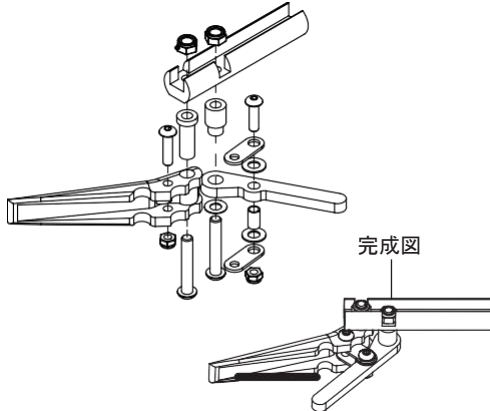


品番	バーの種類	長さ
N/A	標準	8.9cm
000904	延長	15.2cm

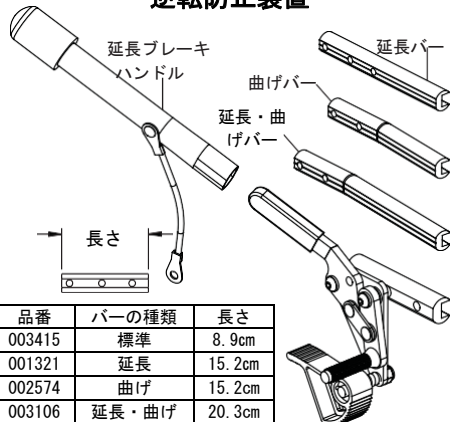
ロープロシザーロック



ショートスルーシザーロック

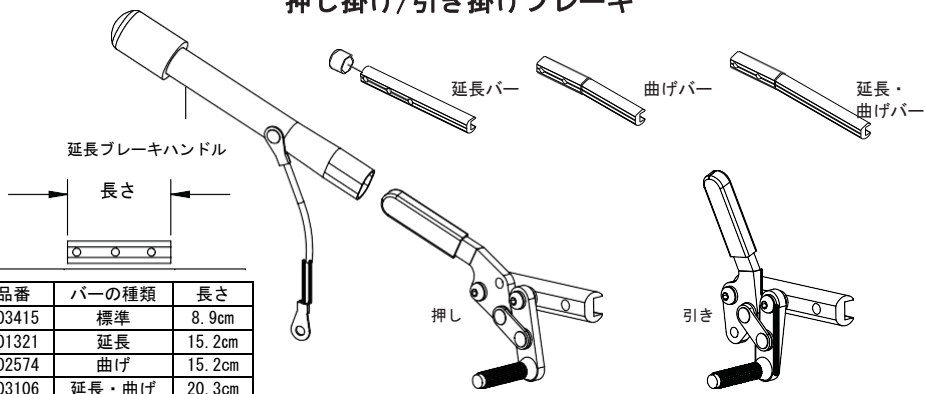


逆転防止装置



品番	バーの種類	長さ
003415	標準	8.9cm
001321	延長	15.2cm
002574	曲げ	15.2cm
003106	延長・曲げ	20.3cm

押し掛け/引き掛けブレーキ



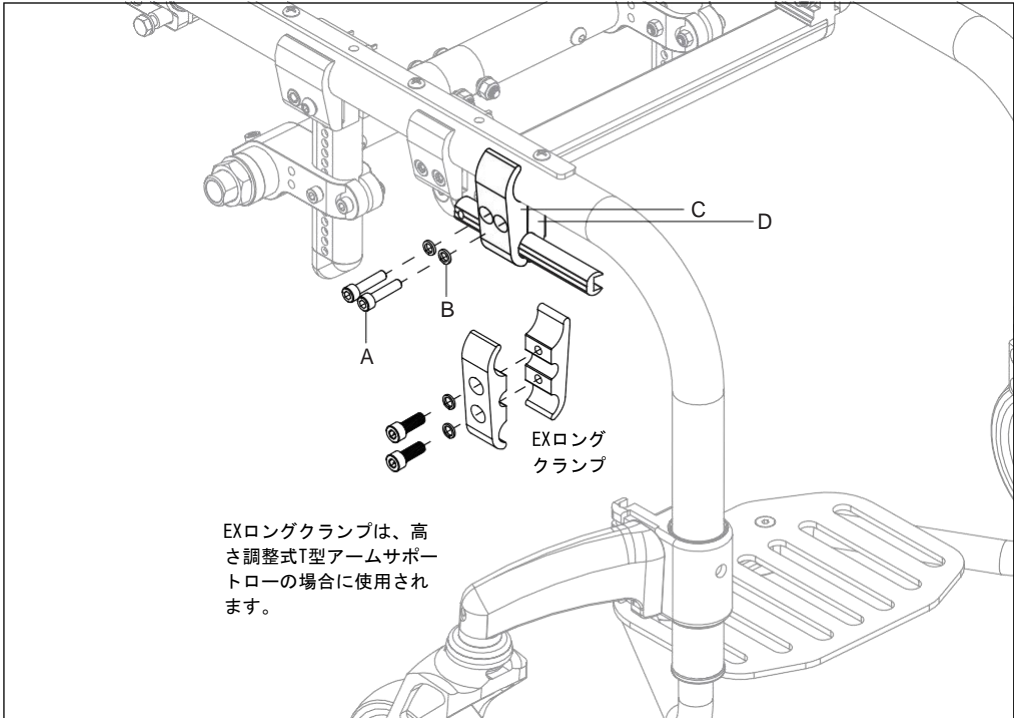
品番	バーの種類	長さ
003415	標準	8.9cm
001321	延長	15.2cm
002574	曲げ	15.2cm
003106	延長・曲げ	20.3cm

ブレーキ

ブレーキクランプの取り付け

1. パー付きのブレーキアセンブリは、ブレーキクランプ (CおよびD) を使用して椅子に取り付けます。下図に示すブレーキクランプには2つのタイプがあります。5mm六角レンチと6mm六角レンチを使用して、バーと車椅子フレームが所定の位置にある状態でハードウェアを取り付けます。取り付けたら、ブレーキがタイヤに少なくとも3.2mm食い込むことを確認し、ブレーキをかけた状態で車椅子が動かない位置に固定します。

注：ネジ類を締める際は一度に締めるのではなく、両側を少しずつ締めながら均等な締め付けになるようにします。これにより、どちらか一方の過剰な締め付けが防止され、ネジ類の噛み込みや取り外しの困難さが軽減されます。



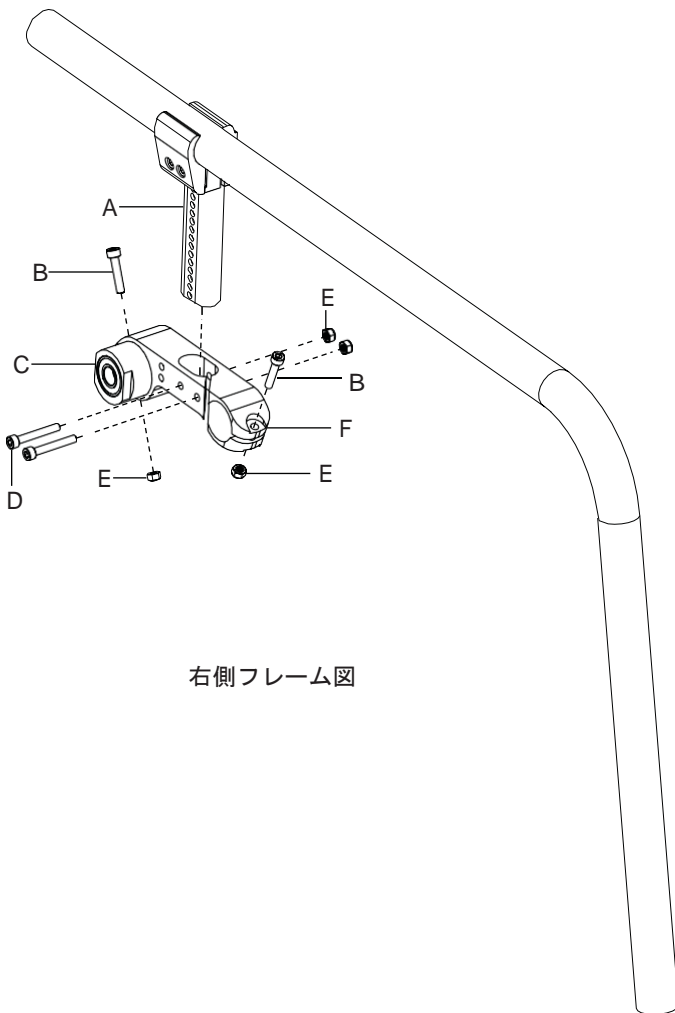
片手駆動 (OAD)

取り付け

1. ホイール、キャンパーチューブ、キャンパーチューブマウントクランプを取り外します。
2. 4mm六角レンチと8mmレンチを使用し、3本のボルト (DとB) と3個のナット (E) で既存のキャンパータワー (A) にキャンパーチューブマウントクランプ (F) を取り付けます。キャンパーマウントクランプをキャンパータワーに取り付けるために使用される穴は、座面高を決定します。ユーザーに希望の座面高を提供する穴を使用してください。

注：一部の構成では、タワーをフレームの外側に取り付ける必要があります。車椅子の外側への取り付けが必要かどうかを確認するには、これらの手順の最後にあるドライブシャフトガイドを確認してください。

3. アクスルマウント (C) は、0° キャンパー構成を使用する場合、図1に示す方法とは逆に取り付けられます。4mm六角レンチと8mmレンチを使用してボルト (B) とナット (E) を取り外し、アクスルマウントを逆にして、ネジ類を再取り付けします。
4. **注：**完成したキャンパータワーアセンブリは、下の画像では前方を向いて示されています。5ホイールを使用している場合、キャンパータワーアセンブリは後方を向きます。



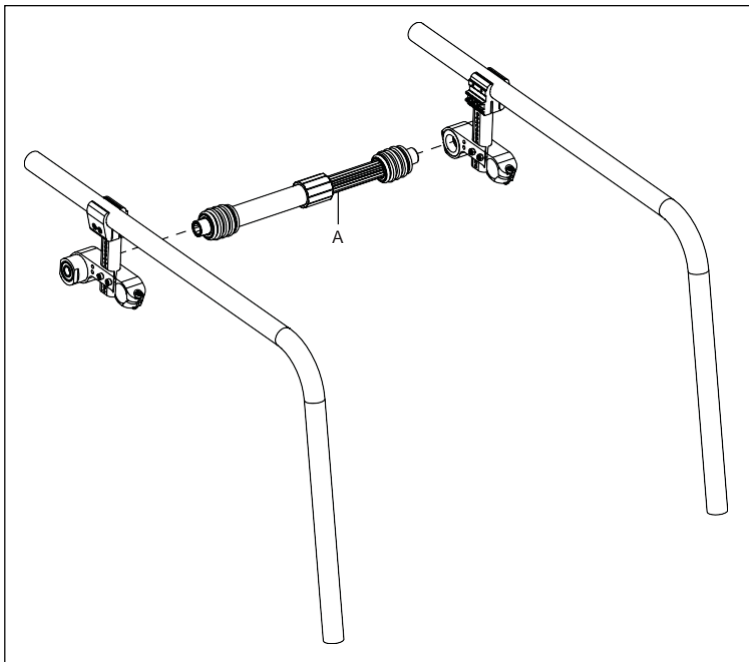
右側フレーム図

片手駆動 (OAD)

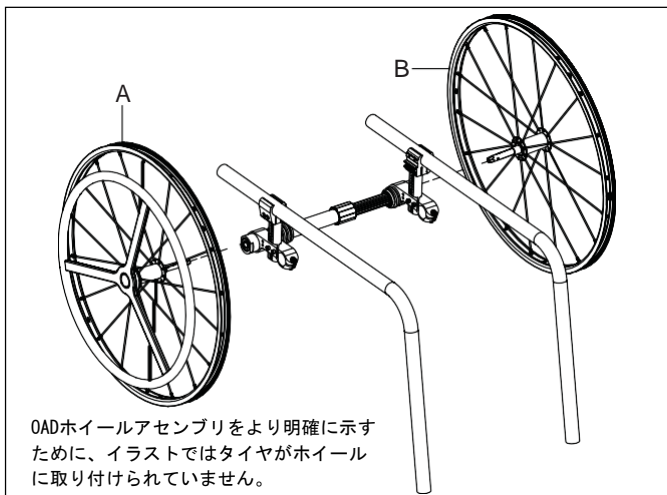
5. 手順2および3と同じ方法で、キャンバーマウントクランプを反対側に取り付けます。完全に締める前に、OADドライブシャフト (A) を両側のアクスルマウントに取り付けます。

注：さまざまな構成で使用されるドライブシャフトの長さについては、これらの手順の最後にある表を参照してください。

注：一部の構成では、まず片側のホイールを取り付け、次にドライブシャフト、次に反対側のホイールを取り付ける必要があります。該当する構成は、これらの手順の最後にあるシャフトリファレンスで説明されています。



6. 車椅子の両側にOADホイールを取り付けます。操作する側にハンドリム (A) を付けたOADホイールを取り付けます。ハンドリムのないOADホイール (B) は操作側ホイールの反対側に取り付けます。



Clik OAD ドライブシャフトガイド

ドライブシャフト長 アームサポート無し・スイングアウト式の場合				
座幅	ホイールベース	キャンバール角	品名	品番
28cm	0.75, 1	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 170-195MM	#111628
	1.25	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 180-210MM	#111627
	1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 195-235MM	#111628
	1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 195-235MM	#111628
30cm	1.5	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 177-255MM	111503
	0.75, 1	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 180-210MM	#111627
	1.25, 1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 195-235MM	111628
	0.75, 1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 195-235MM	111628
33cm	1, 1.25, 1.5	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 177-255MM	111503
	0.75, 1	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 195-235MM	111628
	1.25, 1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 220-280MM	111498
	0.75, 1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 220-280MM	111498
35cm	1, 1.25	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 177-255MM	111503
	1.5	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 225-295MM	111504
	0.75, 1, 1.25	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 220-280MM	111498
	1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 270-330MM	#111499
	0.75, 1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 270-330MM	#111499

この構成では、ドライブシャフトを取り付ける前に片側のホイールを取り外す必要があります。ドライブシャフトが所定の位置にあると、もう一方のホイールを取り付けることができます。

注：オフセットフレームを使用する場合は、タワーアセンブリをフレームの外側に取り付ける必要があります。

Click OAD ドライブシャフトガイド

ドライブシャフト長 アームサポート無し・スイングアウト式の場合

座幅	ホイールスペース	キャンパー角	品名	品番
38cm	1, 1.25, 1.5	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 225-295MM	111504
	0.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 220-280MM	111498
	1	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 270-330MM	#111499
	1.25, 1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 270-330MM	111499
	0.75, 1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 270-330MM	111499
40cm	1	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 225-295MM	111504
	1.25, 1.5	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 260-370MM	111505
	0.75, 1	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 270-330MM	111499
	1.25, 1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 295-370MM	111500
	0.75, 1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 295-370MM	111500
43cm	1, 1.25, 1.5	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 260-370MM	111505
	0.75, 1, 1.25, 1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 295-370MM	111500
	0.75, 1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 295-370MM	111500
45cm	1, 1.25	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 260-370MM	111505
	1.5	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 330-440MM	111506
	0.75, 1	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 295-370MM	111500
	1.25, 1.5	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 350-460MM	111501
	0.75	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 295-370MM	111500
	1	4	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 350-460MM	111501

この構成では、ドライブシャフトを取り付ける前に片側のホイールを取り外す必要があります。ドライブシャフトが所定の位置にあると、もう一方のホイールを取り付けることができます。

注：オフセットフレームを使用する場合は、タワーアセンブリをフレームの外側に取り付ける必要があります。

Clik OAD ドライブシャフトガイド

ドライブシャフト長 1型アームサポートの場合				
座幅	ホイールスペース	キャンバー角	品名	品番
28cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 177-255MM	111503
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 195-235MM	111628
30cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 177-255MM	111503
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 220-280MM	111498
33cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 225-295MM	111504
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 220-280MM	111498
35cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 225-295MM	111504
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 270-330MM	111499
38cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 260-370MM	111505
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 295-370MM	111500
40cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 260-370MM	111505
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 350-460MM	111500
43cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 330-440MM	111506
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 350-460MM	111501
45cm	1.75	0	QUICK RELEASE OAD ZERO CAMBER DRIVE SHAFT 330-440MM	111506
	1.75	2	QUICK RELEASE OAD UNIVERSAL DRIVE SHAFT 350-460MM	111501

注：1型アームサポートを使用する場合は、タワーセンブリをフレームの外側に取り付ける必要があります。

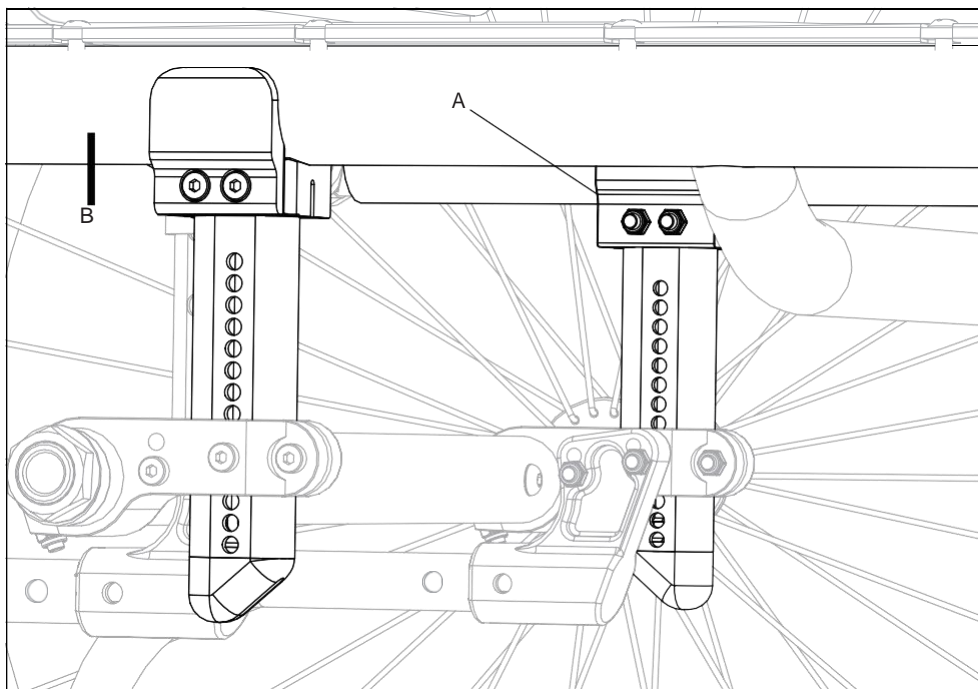
重心位置(車軸位置)の調整 (COG)

シートチューブ (B) に取り付けられている2つのキャンパーマウントクランプ (A) を前後に動かすことで、重心位置(車軸位置)を調整できます。

キャンパーマウントクランプを前方に動かすと、ホイールベースが短くなり、フロントエンドが軽くなり、車椅子の操作性が向上します。キャンパーマウントを後方に動かすと、車椅子がより安定し、後方に転倒しにくくなります。

注：重心位置(車軸位置)の変更は、後座高、リアホイールのトーイン/トーアウト、およびキャスト角に影響を与える可能性があります。重心位置を変更する場合は、必要に応じてこれらすべての設定を再調整してください。

注：車椅子の重心位置(車軸位置)を調整する場合、併せてブレーキの位置を調整する必要があります。

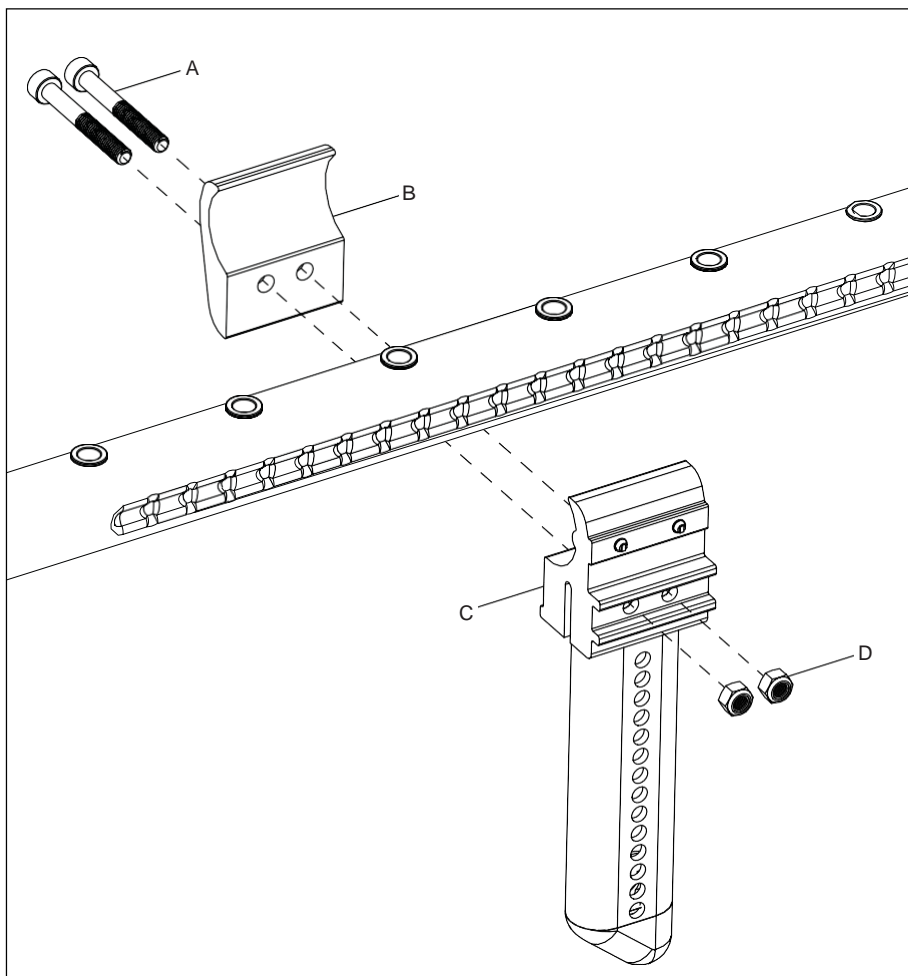


重心位置(車軸位置)の調整 (COG)

重心位置(車軸位置)の調整

- リアホイールを両側とも取り外します。
- キャンパーマウント (AおよびB) をフレームの両側のシートチューブに固定している2本のネジ (C) とナット (D) を緩めます。
- キャンパーチューブの両側を持ち、キャンパーマウントをシートチューブに沿って前後に動かします。マウントを前後に動かすと、フレームの各ディンプルに戻り止めがカチッと合まるのを感じられるはずです。調整は1/4インチ刻みです。
- ネジとナットを再度挿入する前に、フレームの両側のマウントがフレームの両側で同じ場所に調整されていることを確認してください。確認したら、固定されるまで締めます。
- キャンパーマウントクランプを固定したらリアホイールを取り付け、新しい調整位置に慣れるまでは介助者のそばで車椅子を操作して感覚をつかみます。

注：キャンパーマウントをフレームに取り付けるときは、必ず2本以上のネジを使用してください。

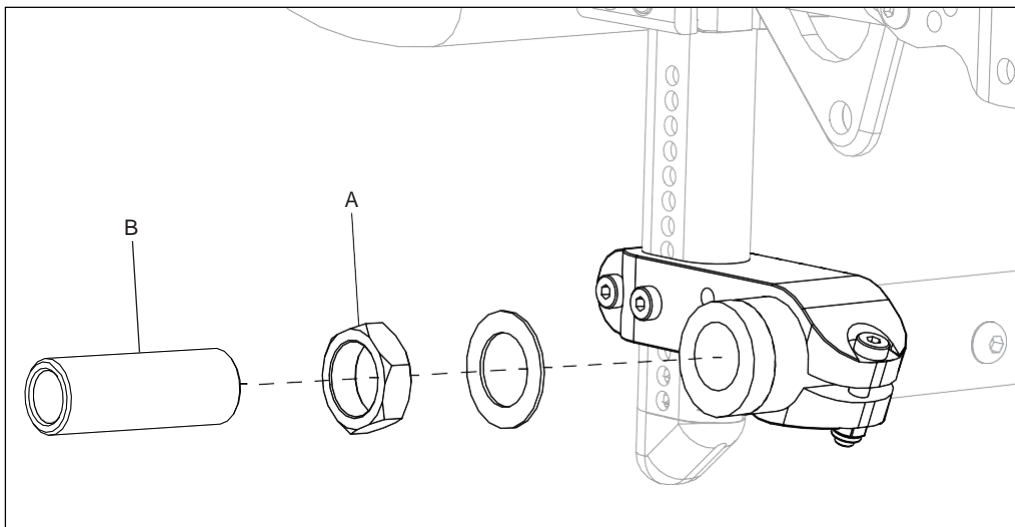


ホイールスペースの調整

ホイールスペースを調整することで、ユーザーはホイールをフレームに近づけたり遠ざけたりすることができます。また、キャンバー調整を補正し、適切なホイール間隔を与えてブッシュ効率を最大化します。

ホイールスペースの調整

1. 24mmレンチでナット (A) を緩め、ねじ山付きアクスルスリーブ (B) の位置を希望の幅に調整します。
2. ナットを締め直します。
3. 反対側も同様に実施します。



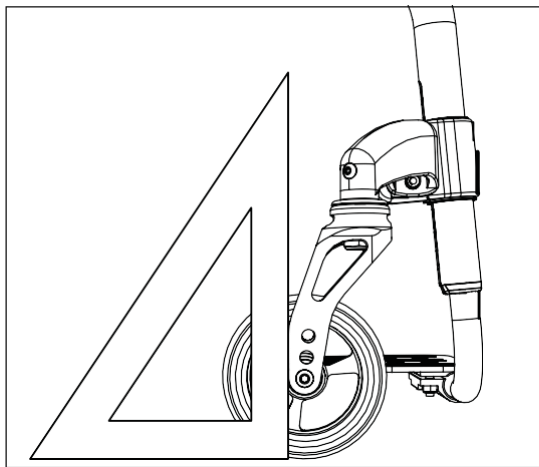
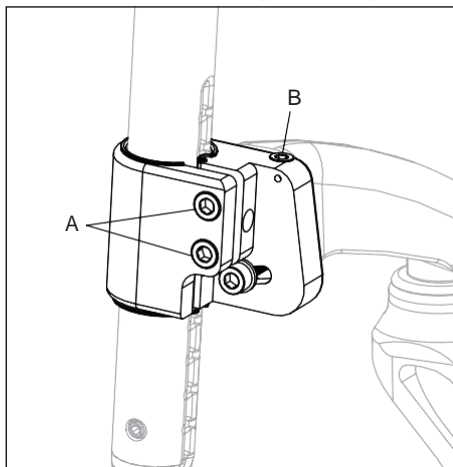
キャスターの垂直

最適なパフォーマンスを得るには、フロントキャスターハウジングを地面に対して垂直になるよう調整する必要があります。Clickは調整後に出荷されます。ただし、車椅子を適切に使用するために調整を行うと、ほとんどの場合キャスターハウジングの角度がずれる結果になります。

車椅子の調整を実施した後、キャスターハウジングの角度を確認し、ハウジングが地面に対して垂直でない場合は調整を行う必要があります。

最適なパフォーマンスを得るには、キャスターハウジングは常に床に対して90°の角度（地面に垂直）である必要があります。

1. 角度を変えるには、車椅子を平らな面（テーブルなど）に置きます。
2. キャスターマウントの上下にある2本の6mmキャップボルト（A）を緩めます。これにより、キャスターハウジングを回転させることができます。
3. テーブル面とキャスターフォークの平らな後側の面に対して大きな直角三角形を配置します。
4. キャスター角を調整するには、3mmの調整ネジ（B）を回します。これにより、キャスター角を調整できます。キャスターステムの回転軸が床面に対して垂直になります。
5. 正しく位置合わせができれば、2本の6mmキャップボルトを80 in/lbs (9.04N/m)（A）で締め直します。
6. 締め付けのバランスの取れる方法で2本のネジを締めます。まず1本のネジを50 in/lbs (5.65N/m)で締め、次に2本目のネジを50 in/lbs (5.65N/m)で締めます。続いて最初のネジを80 in/lbs (9.04N/m)に締め、最後に2本目のネジを80 in/lbs (9.04N/m)に締めます。反対側も同様に実施します。



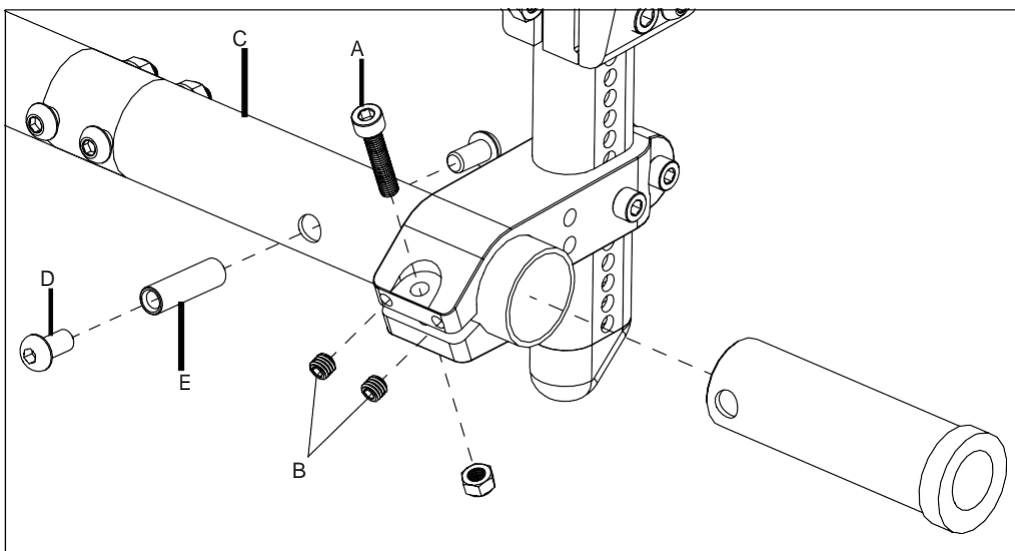
トー角の調整

注：0° のキャンパーアダプターを装備した車椅子は、トーイン・トーアウトの状態にすることはできません。この調整は、2°、4°、6°、および8° のキャンパーアダプターを使用する場合にのみ必要です。

トー角とは、車椅子を真上から見た時に進行方向に対しタイヤが内側や外側を向いている角度のことです。車椅子がどれだけうまく転がるかに影響します。ホイールのトーが0度に設定されていると、回転抵抗は最少です。

トー角をゼロにする

1. キャンパーチューブクランプを固定しているキャップスクリュー (A) を左右とも緩めます。次に、イモネジ (B) を片側2本緩めます。
2. キャンパーアダプターを固定するネジ (D) が地面と水平になるまで、キャンパーチューブ (C) を回転させると、トー角がゼロに設定されます。
3. ネジ (AおよびB) を締める前に、キャンパーチューブがフレームに対して中央にあることを確認してください。クランプから出ているキャンパーチューブ出幅が両側ともに等しいか、まったくない状態である必要があります。
4. 1本のネジを80in/lbs (9.04N/m) (A) に締めてから、反対側のネジを80in/lbs (9.04N/m) に締めます。
5. イモネジ (B) をしっかりと固定されるまで締めます。

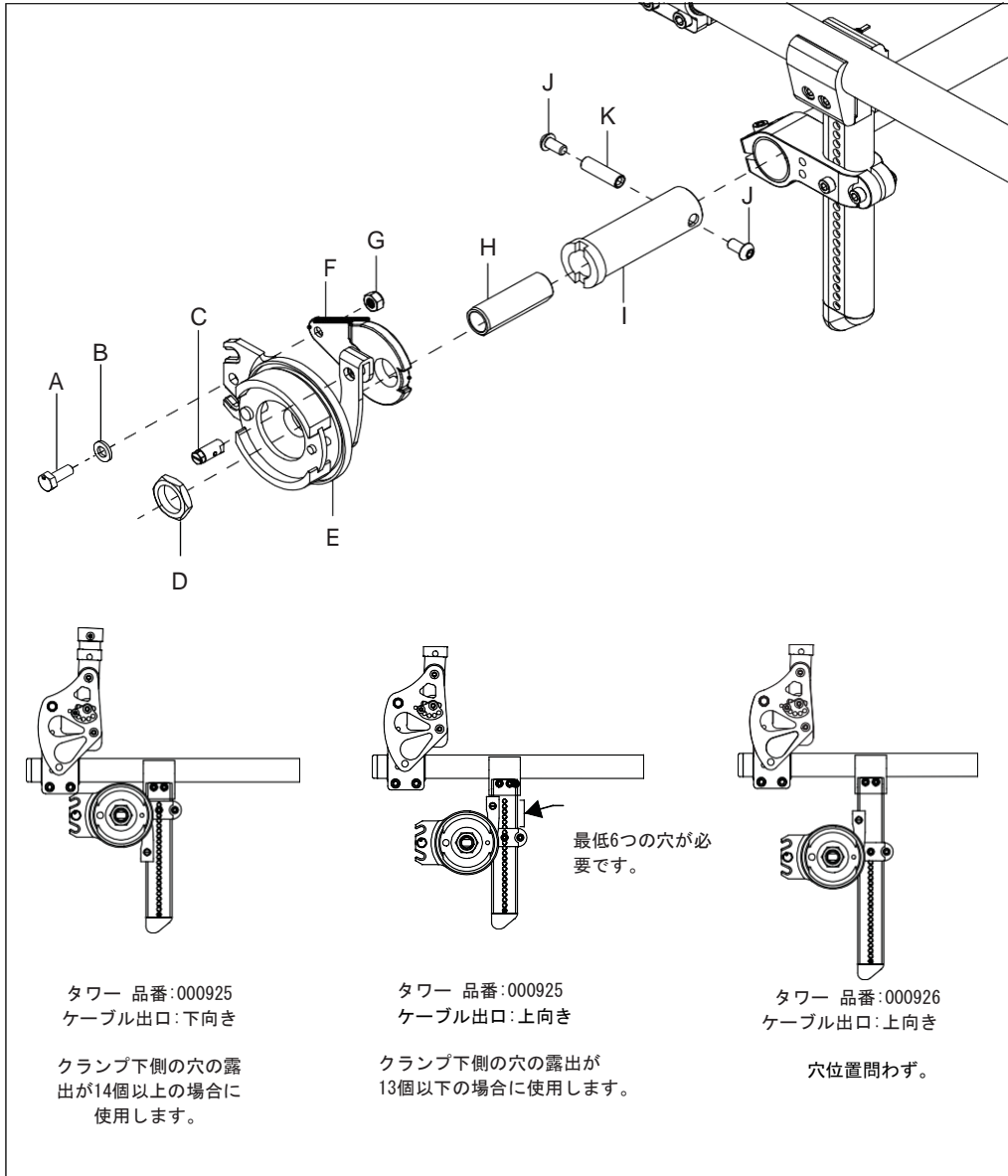


ドラムブレーキ

注：ドラムブレーキの説明を始める前に、ホイールと車軸スリーブを取り外してください。

- 2本の10mmレンチを使用して、ボルト (A)、ワッシャー (B)、およびナット (G) を使用してドラムブレーキアダプター (F) をドラムブレーキローター (E) に取り付けます。ピンチボルト (C) をドラムブレーキアームにねじ込みます。
- ドラムブレーキローターアセンブリを、2本のモンキーレンチと2本の5mm六角レンチを使用して、アクスルレシーバーナット (D)、アクスルスリーブ (H)、キャンパーアダプター (I)、2つのボルト (J)、およびおよびネジ付きバレル (K) でアクスルプレートに取り付けます。

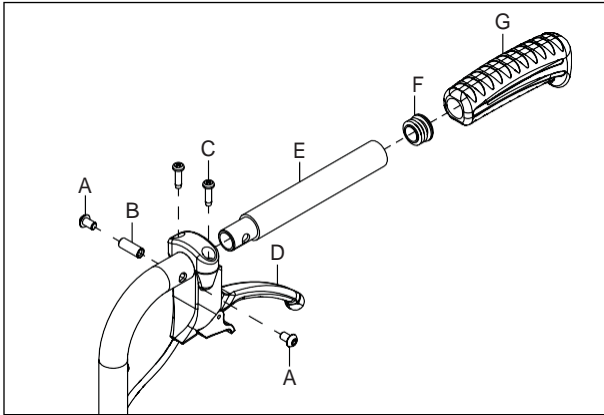
注：ドラムブレーキの向きは、キャンパータワーの位置によって異なります。詳細については、以下の図を参照してください。



ドラムブレーキ

- マウントからレバーを取り外し、ワイヤージャケットからケーブルコアを取り外し、レバーの最後部の穴に通して、ワイヤーをトリガーレバー (D) に取り付けます。レバーを元に戻し、コアをケーブルジャケットに通します。
- トリガーレバー (D) と延長アダプター (E) を、4本のネジ (AとC) とネジ付きパレル (B) で後部ポストハンドルに取り付けます。
- 延長アダプターの背面にチューブエンドプラグ (F) を取り付けます。
- プッシュハンドルグリップ (G) を延長アダプターに取り付けます。

注：バックサポートの種類に基づくケーブルの種類は、画像の下の表に示されています。

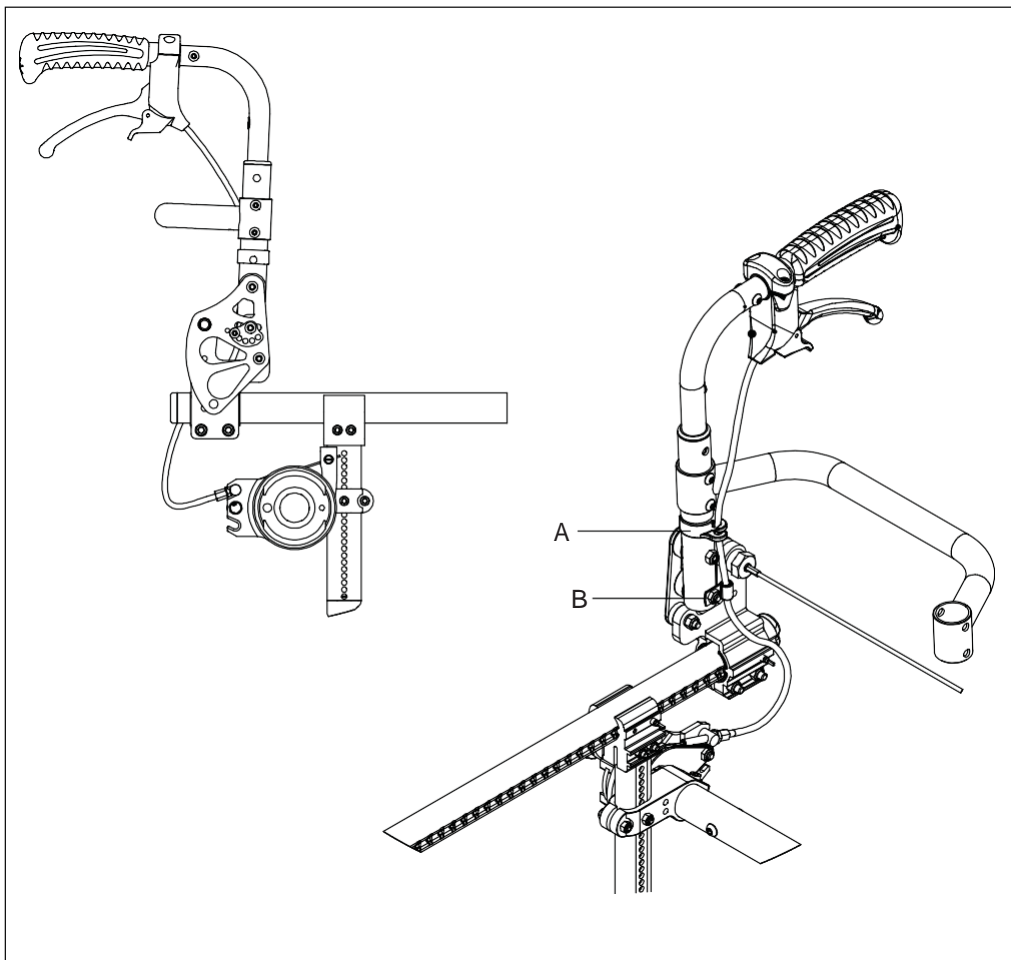


バックサポート別ワイヤー

		高さ固定式	高さ調整式	
			XS & ショート	ミディアム & ロング
バックサポート高さ	23cm	4XS	3XS	
	25cm	4XS		
	28cm	3XS		
	30cm	3XS		
	33cm	3XS		
	35cm	3XS		
	38cm	2XS	2XS	
	40cm	2XS		
	43cm	2XS		
	45cm	2XS		

ドラムブレーキ

7. ワイヤーをバックパイプからドラムブレーキまで配線します。
8. ワイヤーの端をピンチボルトの穴に通し、ワイヤーからすべての遊びを取り除いた後、締めます。
9. レバーを握っていない状態ではホイールへブレーキがかからず、レバーを握ると確実にブレーキがかかる状態までワイヤーを調整します。
10. 図のように、ワイヤークリップ (A) とPクリップ (B) を使用して、ワイヤーをバックパイプとフレームに固定します。





CE

DCN0374.3